

Web GUI

概要・基本設定	4
設定環境	4
設定の準備	4
画面構成	6
トップエリア	6
メニューエリア	7
メインエリア	8
コピーライトエリア	9
メインエリアの操作方法	9
現在の設定の保存	10
設定の終了	11
HTTP サーバー機能の無効化	11
コマンドラインインターフェースとの機能の違い	12
システム設定	13
システム	13
システム設定	13
IP 設定	13
パスワード	14
時間	15
システム時間	16
NTP	16
SNMP	17
SNMP 基本設定	17
SNMP コミュニティーの作成	17
SNMP コミュニティーの設定変更	18
SNMP コミュニティーの削除	18
ログ	19
ログ設定	19
アクセスフィルター	20
サービス設定	21
エントリーの追加	21
エントリーの設定変更	22
エントリーの削除	22
その他	23

ユーザーインターフェース	23
FTP サーバー	24
スイッチ設定	25
ポート	25
省電力モード	25
ポート一覧	25
ポート設定	26
ポートステータス表示	27
プロテクション	28
パケットストームプロテクション設定	29
ポート設定	29
パケットストームプロテクション設定	29
ミラーリング	30
トランキング	31
トランクグループの作成	32
トランクグループの設定変更	33
トランクグループの削除	33
バーチャル LAN	33
バーチャル LAN 設定	34
マルチプル VLAN 設定	36
IGMP Snooping	37
設定	38
QoS	38
QoS 基本設定	39
DSCP 設定	39
ポートプライオリティー	41
LDF 検出	41
ポート設定	42
受信レート検出	43
ポート設定	44
その他	45
フォワーディングデータベース	46
BPDU パケット透過	46
EAP パケット透過	46
セキュリティ設定	48
ポートセキュリティ	48
ポート一覧	48
ポートセキュリティ設定	49
RADIUS サーバー	49
RADIUS アカウント設定	50
RADIUS クライアント設定	51
RADIUS サーバー設定	51

ポート認証	52
ポートアクセス設定	53
ポート設定	54
Supplicant MAC 透過設定	58
機器監視	60
システム情報	60
ポートの状態表示	60
ポートステータス表示	61
システム情報の自動更新	62
システム情報/ハードウェア情報	62
詳細情報	63
ログ	64
ログカウンター	65
ログ表示条件	65
統計カウンター	66
スイッチカウンター	66
ポート一覧	67
ポートカウンター表示	67
FDB	68
FDB 表示条件	69
スタティックエントリー登録	70
スタティックエントリー削除	71
全ダイナミックエントリー削除	71
LDF 検出カウンター	71
受信レート検出カウンター	72
IGMP Snooping	73
マネージメント	75
ポートリセット	75
リセットポート選択	75
コンフィグファイル	75
設定ファイル	76
設定保存	76
設定表示	77
ファイル管理	77
ファイル一覧	79
設定ファイルの転送	79
ファームウェアの更新	79
Internet Explorer 7 以上を使用する場合の注意	80
Internet Explorer 8 / 9 を使用する場合の注意	80
再起動	81

概要・基本設定

本製品は、Web ブラウザーを利用したグラフィカル・ユーザー・インターフェース（GUI）をサポートしています。Web ブラウザーから本製品にアクセスして、設定の変更や参照を行うことも可能です。Web GUI の使用について説明します。

設定環境

本製品で Web GUI を使用する場合は、下記の環境でご使用ください。

- 対応 OS は、Windows XP および Windows Vista、Web ブラウザーは、Microsoft Internet Explorer 6.0（Windows 版）以上を使用してください。
 - 1024 × 768 以上の解像度のモニターを使用して頂くことをお勧めします。
 - ファイル管理は、Internet Explorer の HTTP 機能を利用します。
- ／ 1024 × 768 以上の解像度のモニターでない場合、一部のフレームが表示されないことがあります。
- ／ 「ポップアップをブロックする」が有効な場合、本機能を使用することはできません。[ツール] メニューの「インターネットオプション」を選択し、「プライバシー」の「ポップアップ ブロック」の設定において、本製品の IP アドレスを許可する設定としてください。
- ／ Internet Explorer 7 以上を使用し、コンフィグファイルやファームウェアを転送する場合は、事前に設定が必要となります。詳細は「Web GUI」/「マネージメント」をご覧ください。

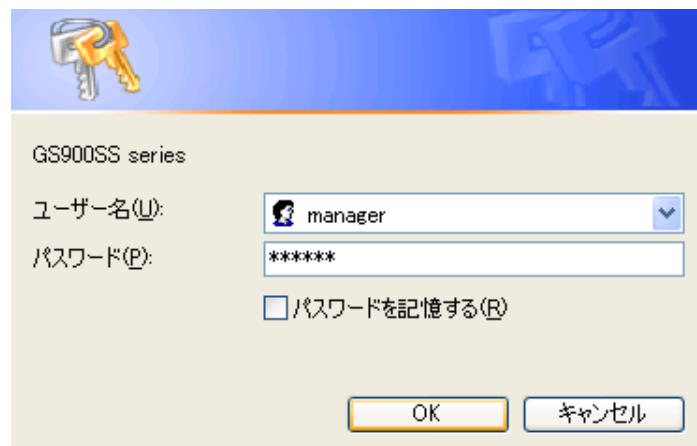
設定の準備

本製品の Web GUI 機能を使用するためには、まず、下記の設定を行います。

- 本製品の IP アドレスを設定する
 - 本製品の HTTP サーバー機能を有効にする
- ／ Web GUI を使用するには、あらかじめコンソールターミナルからログインし、本製品に IP アドレス等を設定しておく必要があります。IP の設定については、「IP」/「概要・基本設定」をご覧ください。HTTP サーバー機能については、「運用・管理」/「HTTP サーバー」をご覧ください。

本製品にアクセスする手順は、下記のとおりです。

1. Web ブラウザーを起動します。
2. 「アドレス」に、スイッチの IP アドレスを入力し、「Enter」キーを押します。
3. パスワードの入力ダイアログボックスが表示されます。
「ユーザー名」と「パスワード」を入力します。ここでは、デフォルト設定の「manager」と「friend」を入力するものとします。入力したら、「OK」をクリックします。



GS900SS series

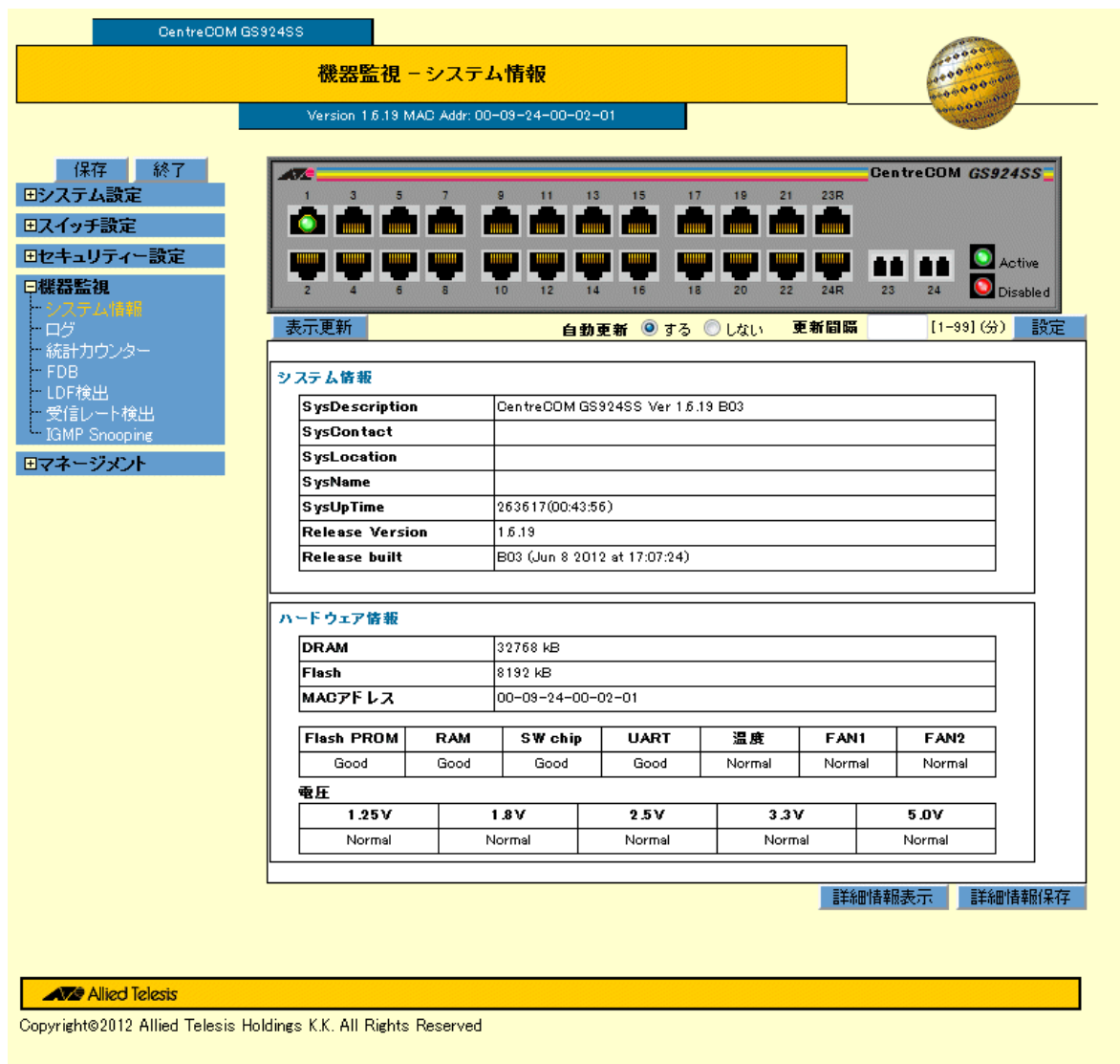
ユーザー名(U):

パスワード(P):

☐ パスワードを記憶する(R)

OK キャンセル

4. ログインに成功すると、下記の画面が表示されます。



CentreCOM GS924SS

機器監視 - システム情報

Version 1.6.19 MAC Addr: 00-09-24-00-02-01

保存 終了

- システム設定
- スイッチ設定
- セキュリティ設定
- 機器監視
 - システム情報
 - ログ
 - 統計カウンター
 - FDB
 - LDF検出
 - 受信レポート検出
 - IGMP Snooping
- マネージメント

表示更新 自動更新 ☒ する ☐ しない 更新間隔 [1-99] (分) 設定

システム情報

SysDescription	CentreCOM GS924SS Ver 1.6.19 B03
SysContact	
SysLocation	
SysName	
SysUpTime	263617(00:43:56)
Release Version	1.6.19
Release built	B03 (Jun 8 2012 at 17:07:24)

ハードウェア情報

DRAM	32768 kB
Flash	8192 kB
MACアドレス	00-09-24-00-02-01

Flash PROM	RAM	SW chip	UART	温度	FAN1	FAN2
Good	Good	Good	Good	Normal	Normal	Normal

電圧

1.25V	1.8V	2.5V	3.3V	5.0V
Normal	Normal	Normal	Normal	Normal

詳細情報表示 詳細情報保存

Allied Telesis

Copyright©2012 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

- デフォルトのパスワードを使い続けることはセキュリティ上好ましくありませんので、初回ログイン時に変更することをお勧めします。詳細は「運用管理」/「システム」をご覧ください。
- 本製品は、同時に複数のユーザーが、Web インターフェースからログインすることが可能です。一方のユーザーが設定を変更した後に、別のユーザーが同じ設定を変更した場合、設定は上書きされますのでご注意ください。

画面構成

設定画面は、下記の 4 つのエリアで構成され、それぞれフレームで分割されています。

CentreCOM GS924SS

システム設定 - システム

Version 1.6.19 MAC Addr: 00-09-24-00-02-01

保存 終了

システム設定

システム

時間

SNMP

ログ

アクセスフィルター

その他

スイッチ設定

セキュリティ設定

機器監視

マネージメント

システム設定

システム名 (SysName)

設置場所 (SysLocation)

責任者 (SysContact)

設定 リセット

IP設定 (※本設定を行うと、本体との通信ができなくなる可能性があります)

IPアドレス (IP)

192 . 168 . 10 . 5 (Static)

サブネットマスク (SubnetMask)

255 . 255 . 255 . 0

ゲートウェイアドレス (Gateway)

0 . 0 . 0 . 0

インターフェース (VLAN)

default

設定 リセット

パスワード

●●●●●●●●

変更

Allied Telesis

Copyright©2012 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

トップエリア

トップエリア（画面上部のフレーム）には、製品名、現在選択されているメニューの項目、ファームウェアバージョン、本製品の MAC アドレスが表示されます。

現在選択されている項目は、「大項目 - 小項目」の形式で表示されます。

大項目として表示されるのは、メニュー項目をグループ単位で分割するグループ名です。小項目として表示されるのは、メニュー項目の最小単位の機能名です。どちらも、後述のメニューエリアにも表示されます。

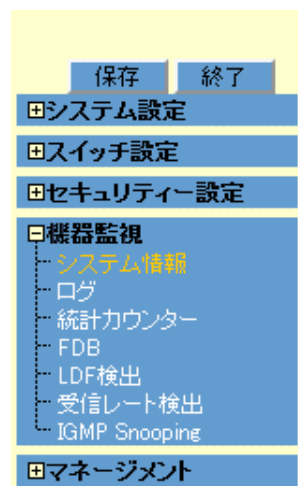


メニューエリア

メニューエリア（画面左のフレーム）には、メニューがツリー状に表示されます。

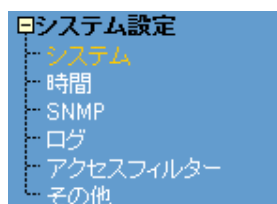
メニューの大項目（グループ名）をクリックすると、小項目が表示されます。

小項目（機能名）をクリックすると、選択された項目は黄色で表示され、後述のメインエリアに、その機能に関する設定項目や現在の設定状態が表示されます。



メニューの大項目は、下記のとおりです。

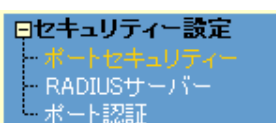
システム設定（詳細は、「システム設定」をご覧ください）



スイッチ設定（詳細は、「スイッチ設定」をご覧ください）



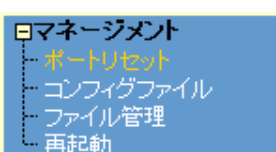
セキュリティ設定（詳細は、「セキュリティ設定」をご覧ください）



機器監視（詳細は、「機器監視」をご覧ください）



マネージメント（詳細は、「マネージメント」をご覧ください）



メニューの上には、「保存」、「終了」の2つのボタンがあります。

2つのボタンの機能は次のとおりです。

- 「保存」: 現在の設定内容（メモリー上の設定内容）をスクリプトファイルに保存します
- 「終了」: 表示しているウィンドウを閉じ、操作を終了します

メインエリア

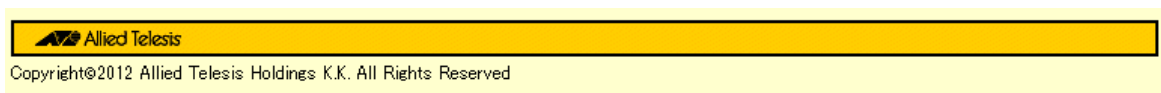
メインエリア（画面右のフレーム）には、メニューエリアで選択した小項目（機能名）に関する、設定項目や現在の設定状態が表示されます。

メインエリアでの基本的な操作方法については、後述の「メインエリアの操作方法」を参照してください。

<p>システム設定</p> <p>システム名(SysName) <input type="text"/></p> <p>設置場所(SysLocation) <input type="text"/></p> <p>責任者(SysContact) <input type="text"/></p> <p style="text-align: right;"> <input type="button" value="設定"/> <input type="button" value="リセット"/> </p>	<p>IP設定 (※本設定を行うと、本体との通信ができなくなる可能性があります)</p> <p>IPアドレス(IP) <input type="text" value="192"/> . <input type="text" value="168"/> . <input type="text" value="10"/> . <input type="text" value="5"/> (Static)</p> <p>サブネットマスク(SubnetMask) <input type="text" value="255"/> . <input type="text" value="255"/> . <input type="text" value="255"/> . <input type="text" value="0"/></p> <p>ゲートウェイアドレス(Gateway) <input type="text" value="0"/> . <input type="text" value="0"/> . <input type="text" value="0"/> . <input type="text" value="0"/></p> <p>インターフェース(VLAN) <input type="text" value="default"/></p> <p style="text-align: right;"> <input type="button" value="設定"/> <input type="button" value="リセット"/> </p>
<p>パスワード</p> <p> <input type="password" value="●●●●●●●●"/> </p> <p style="text-align: right;"> <input type="button" value="変更"/> </p>	

コピーライトエリア

コピーライトエリア（画面下部のフレーム）には、弊社のロゴとコピーライトが表示されます。



メインエリアの操作方法

メインエリアでよく使用するボタンなどの操作方法是、次のとおりです。

「設定」ボタン

「設定」ボタンをクリックすると、設定の変更が本製品に反映されます。

ただし、「設定」ボタンをクリックしただけでは、設定内容はスクリプトファイルに保存されませんので、本製品を再起動すると、設定は元に戻ってしまいます。

設定内容をスクリプトファイルに保存するには、メニューエリアの上にある、「保存」ボタンをクリックしてください。

次の設定の変更は、再起動後に有効になります。次の設定を変更した場合は、本製品を再起動してください。

- ポートランキング
- VLAN モード

- 「設定」ボタンをクリックして設定を変更すると、メニューエリアの「保存」ボタンの色が赤くなります。設定を保存する必要がある場合は、「保存」ボタンをクリックするのを忘れないようにしてください。

「リセット」ボタン

「リセット」ボタンをクリックすると、設定の変更や入力した値が、変更前の状態に戻ります。

- 設定の変更や値の入力後に「設定」ボタンを押した場合は、変更前の状態には戻りません。

「追加」ボタン

グループやエントリーを追加します。設定のダイアログボックスが表示されますので、そこで必要な設定を行います。

- ここで表示される設定項目には、デフォルトの設定値が表示されます。

「変更」ボタン

グループやエントリーの設定を変更します。設定のためのダイアログボックスが表示されますので、そこで必要な変更を行います。

- ここで表示される設定項目には、現在の設定値が表示されます。

「削除」ボタン

グループやエントリーを削除します。

その他の操作方法については、各メニューの説明を参照してください。

現在の設定の保存

設定の変更を行い、メニューエリアの「設定」ボタンをクリックすると、設定の変更は、直ちに、本製品に反映されます。

ただし、「設定」ボタンをクリックしただけでは、設定内容はスクリプトファイルに保存されませんので、本製品を再起動すると、設定は元に戻ってしまいます。

次の起動時以降も現在と同じ設定を使いたい場合は、設定内容を設定ファイルとして保存し、起動時にそのファイルを使用するように指定しなければなりません。

設定内容を設定ファイルに保存するには、メニューエリアの上にある、「保存」ボタンをクリックしてください。

- 「設定」ボタンをクリックして設定を変更すると、メニューエリアの「保存」ボタンの色が赤くなります。設定を保存する必要がある場合は、「保存」ボタンをクリックするのを忘れないようにしてください。

「保存」ボタンをクリックすると、「コンフィグレーション保存」が表示されます。

次の3つの保存方法の中から1つを選択し「設定」ボタンをクリックすると、現在の設定内容が設定ファイルに保存されます。

「キャンセル」ボタンをクリックすると、設定は保存されません。

- 「起動時設定ファイルに保存する」: 「起動時設定ファイル」に設定されている設定ファイルに、設定を保存
- 「既存ファイルに保存する」: 選択したファイルに設定を保存
- 「新規ファイルに保存する」: ファイルを新規に作成し、設定を保存

設定の終了

Web GUI による設定を終了する場合は、メニューエリアの「終了」ボタンをクリックします。

「終了」ボタンをクリックすると、終了確認のダイアログボックスが表示されます。



「はい」ボタンをクリックすると、ウィンドウが閉じられます。

「いいえ」ボタンをクリックすると、元の設定画面に戻ります。

HTTP サーバー機能の無効化

Web GUI を使用しない場合は、セキュリティを高めるために、HTTP サーバー機能を無効にしてください。
HTTP サーバー機能については、「運用・管理」/「HTTP サーバー」をご覧ください。

コマンドラインインターフェースとの機能の違い

コマンドラインインターフェースで可能なことは、Web GUI でも基本的には可能ですが、次の項目については、Web GUI では実行することができません。

- PING
- SNTP モジュールの設定消去
- SNTP モジュールのリセット
- ログ設定の削除
- ログメッセージの削除
- コンソール（ログインセッション）の 1 画面当たりの表示行数の設定
- QoS の設定/消去
- フラッシュメモリーの初期化
- ファイルのコピー
- ファイルの削除
- 指定したファイルの内容表示
- スクリプトの実行
- 表示コマンドの一部の項目が表示されない

システム設定

システム

システム情報や IP アドレス情報に関する設定、および、ログインパスワードの設定を行います。

システムの詳細については、「運用・管理」/「システム」をご覧ください。

「運用・管理」/「システム」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。

システム設定

システム名などの設定を行います。

システム名 (SysName)

システム名を入力します。

設置場所 (SysLocation)

設置場所を入力します。

責任者 (SysContact)

連絡先を入力します。

IP 設定

IP アドレス情報に関する設定を行います。VLAN モードごとに設定が可能です。

IP 設定の詳細については、「IP」/「概要・基本設定」をご覧ください。

「IP」/「概要・基本設定」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも、下記の項目以外は同じことができます。

- PING

✧ IP アドレスに関する設定を変更すると、本製品との通信ができなくなる可能性がありますので、ご注意ください。

IP アドレス (IP)

システムに割り当てる IP アドレスを設定します。

サブネットマスク (SubnetMask)

サブネットマスクを設定します。省略時は IP アドレスのクラス標準マスクが用いられます。

ゲートウェイアドレス (Gateway)

ゲートウェイアドレスを設定します。ルーターを介して通信を行う場合に設定します。

インターフェース (VLAN)

IP アドレスを割り当てるインターフェース (VLAN) を設定します。802.1Q タグ VLAN モードの場合は、VLAN 名または VLAN ID を入力します。デフォルトでは、VLAN default に割り当てられています。マルチプル VLAN モードの場合は、VLAN 名 (アップリンク VLAN:UV1~3、ノーマル VLAN:NV1~10) を入力します。デフォルトでは、UV1 に割り当てられています。

パスワード

ログインパスワードを設定します。

「変更」ボタンをクリックすると、パスワード変更のダイアログボックスが表示されます。

現パスワード

現在のパスワードを入力します。入力したパスワードは、「・」で表示されます。

新パスワード

新しいパスワードを入力します。入力したパスワードは、「・」で表示されます。

新パスワード(再入力)

確認のために、もう一度新しいパスワードを入力します。入力したパスワードは、「・」で表示されます。

時間

本製品では、システム時間の手動設定、および、SNTP (Simple Network Time Protocol) を利用した時刻設定が可能です。

本製品はリアルタイムクロックを内蔵していないため、システムを再起動するたびに時刻をあわせる必要があります。これは、手動で行うこともできますが、SNTP サーバーにアクセスできる環境では、SNTP の利用をおすすめします。

SNTP の詳細については、「運用・管理」/「SNTP」をご覧ください。

「運用・管理」/「SNTP」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも、次の項目以外は同じことができます。

- SNTP モジュールの設定消去
- SNTP モジュールのリセット

システム時間

内蔵時計の日付と時刻を設定します。

年/月/日

日付を入力します。

時:分:秒

時刻を入力します。

NTP

SNTP に関する設定を行います。

NTP 有効

SNTP モジュールを有効にする場合に、チェックを付けます。

SNTP モジュールを無効にする場合に、チェックを外します。

タイムゾーン (UTC offset)

協定世界時からのオフセットを指定します。定義済みのタイムゾーン名をリストから選択します。

UTC offset

現在設定されている、協定世界時 (UTC) からのオフセットが表示されます。

NTP サーバー (NTP Peer)

時刻同期をとる SNTP サーバーの IP アドレスを設定します。SNTP サーバーは 1 つしか設定できません。

NTP ポート番号

SNTP サーバーの UDP ポートを設定します。

SNMP

ネットワーク管理プロトコル SNMP (Simple Network Management Protocol) を利用するための設定を行います。

SNMP の詳細については、「運用・管理」/「SNMP」をご覧ください。

「運用・管理」/「SNMP」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。

CentreCOM GS924SS

システム設定 - SNMP

Version 1.6.19 MAC Addr: 00-09-24-00-02-01

保存 終了

システム設定

- システム
- 時間
- SNMP
- ログ
- アクセスフィルター
- その他

スイッチ設定

セキュリティ設定

機器監視

マネージメント

SNMP基本設定

☐ SNMP有効

SNMPポート番号
161 [1-65535]

設定 リセット

SNMPコミュニティ

コミュニティ名	状態	Trap	アクセス権	アクセス許可

追加 変更 削除

Allied Telesis

Copyright©2012 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

SNMP 基本設定

SNMP 有効

SNMP モジュールを有効にする場合にチェックを付けます。

SNMP モジュールを無効にする場合にチェックを外します。

SNMP ポート番号

SNMP (get/set) のリスニングポートを変更します。

SNMP コミュニティー

作成されているコミュニティの一覧が表示されます。

SNMP コミュニティーの作成

SNMP コミュニティーを作成するには、「追加」ボタンをクリックします。

「追加」ボタンをクリックすると、「SNMP コミュニティー - 追加」が表示されます。

次の項目を設定します。

「コミュニティ名 (Community)」

コミュニティ名を入力します。

「本コミュニティを有効にする」

作成したコミュニティを有効にする場合にチェックを付けます。

無効にする場合はチェックを外します。

「管理ステーション (Manager)」

SNMP オペレーションを許可する管理ステーションを指定します。

「アクセス権 (Access)」

コミュニティのアクセス権をリストから選択します。

「アクセス許可 (Open)」

「管理ステーション (Manager)」で指定したホストだけでなく、すべての SNMP リクエストを受け入れる場合にチェックを付けます。

SNMP コミュニティーの設定変更

作成されたコミュニティの一覧から、設定を変更したいコミュニティにチェックを付けて「変更」ボタンをクリックすると、「SNMP コミュニティー - 変更」が表示されます。ここでコミュニティの設定の変更や、管理ステーションの追加/削除を行います。

SNMP コミュニティーの削除

作成されたコミュニティの一覧から、設定を変更したいコミュニティにチェックを付けて「削除」ボタンをクリックすると、確認のダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックすると、コミュニティは削除されます。「キャンセル」ボタンをクリックすると、コミュニティは削除されません。

ログ

ログ機能の設定を行います。

ログ機能の詳細については、「運用・管理」/「ログ」をご覧ください。

「運用・管理」/「ログ」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも、下記の項目以外は同じことができます。

- ログ設定の削除

ログ設定

ログ有効

ログ機能を有効にする場合に、チェックを付けます。

ログ機能を無効にする場合に、チェックを外します。

ログ出力先 (Output)

ログ出力先を指定します。

メモリーに出力する場合は、「メモリー (TEMPORARY)」にチェックを付けます。

syslog サーバーに出力する場合は、「syslog サーバー (SYSLOG)」にチェックを付けます。

- ㄨ ログ機能を有効にし、出力先を「メモリー (TEMPORARY)」に設定している場合は、機器監視のログメニューで、ログを表示させることができます。

出力ログレベル (Severity)

出力先がメモリー (TEMPORARY) の場合のメッセージのログレベルを指定します。「レベル」と比較演算子をリストから選択します。

syslog サーバーアドレス

syslog のメッセージの転送先 IP アドレスを指定します。

syslog ポート番号

syslog サーバーへの UDP ポートを指定します。

syslog レベル (Severity)

出力先が syslog サーバー (SYSLOG) の場合のメッセージのログレベルを指定します。「レベル」と比較演算子をリストから選択します。

ファシリティ (Facility)

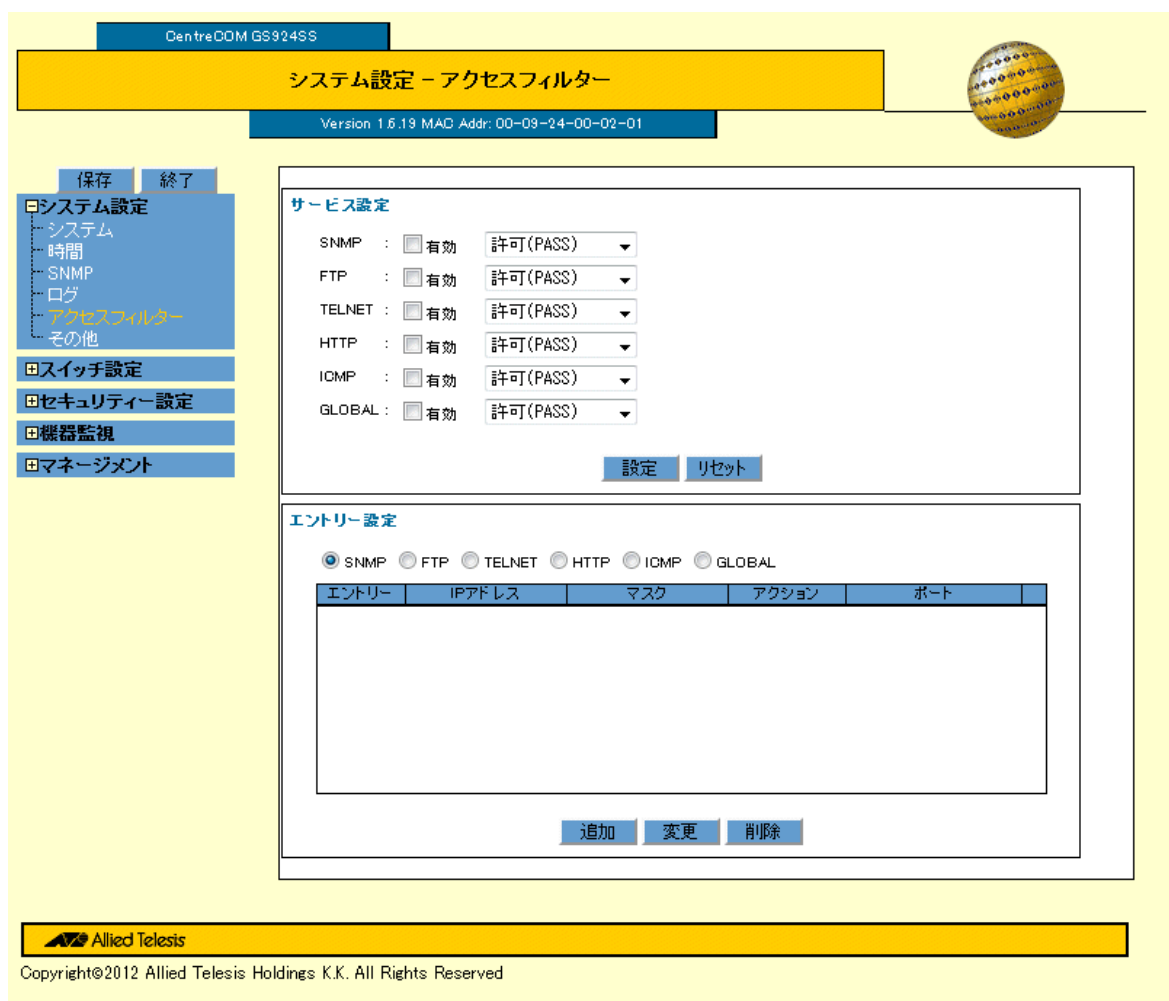
syslog サーバーへ送信するログファシリティ値をリストから選択します。

アクセスフィルター

本製品宛の通信に適用するセキュリティ機能に関する設定を行います。

アクセスフィルターの詳細については、「運用・管理」/「アクセスフィルター」をご覧ください。

「運用・管理」/「アクセスフィルター」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。



サービス設定

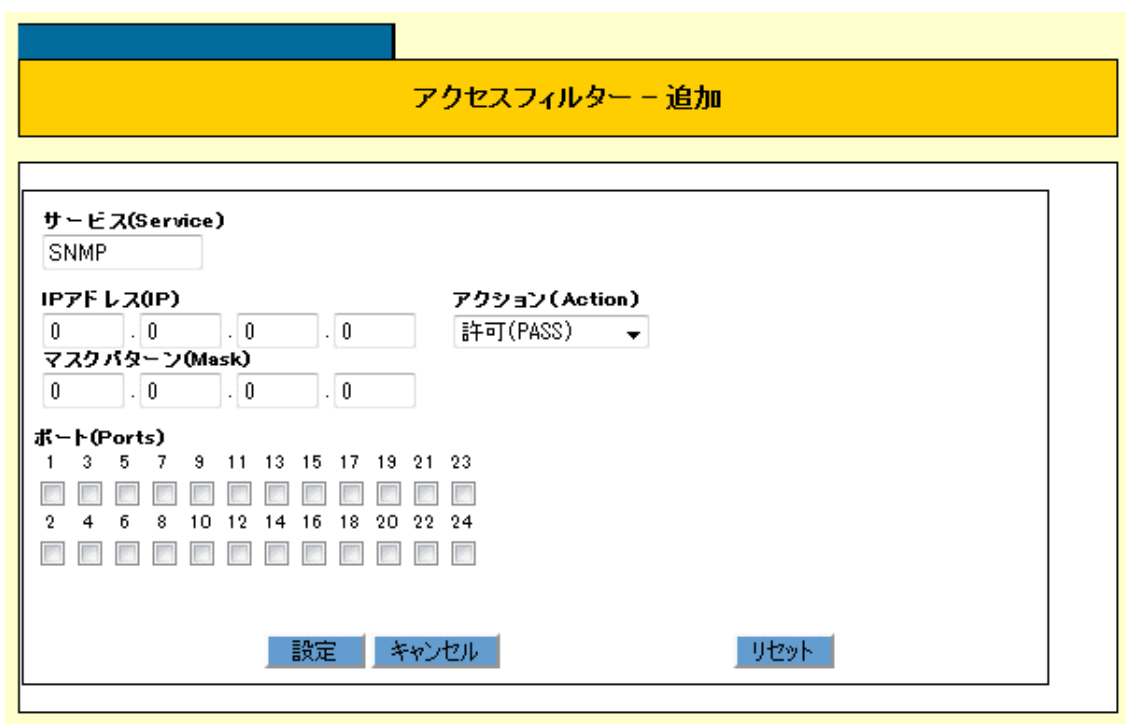
アクセスフィルター機能を有効にしたいサービスに、チェックを付けます。
各サービスに対応するデフォルトの処理をリストから選択します。

エントリーの追加

「エントリー設定」で、エントリーを追加するサービスを選択します。

アクセスフィルターのエントリーを作成するには、「追加」ボタンをクリックします。

「追加」ボタンをクリックすると、「アクセスフィルター - 追加」が表示されます。



アクセスフィルター - 追加

サービス(Service)

IPアドレス(IP)

マスクパターン(Mask)

アクション(Action)

ポート(Ports)

1	3	5	7	9	11	13	15	17	19	21	23
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

次の項目を入力します。

サービス (Service)

「エントリー設定」で選択したサービス名が表示されます。

IP アドレス (IP)

フィルタリング対象の IP アドレスを指定します。

アクション (Action)

パケットがフィルターの条件に一致したときのアクションをリストから選択します。

マスクパターン (Mask)

マスクパターンを指定します。

ポート (Ports)

アクセスフィルター機能を有効にするスイッチポート番号にチェックを付けます。

アクセスフィルター機能を無効にするスイッチポート番号のチェックを外します。

エントリーの設定変更

作成されたエントリーの一覧から、設定を変更したいエントリー番号にチェックを付けて「変更」ボタンをクリックすると、「アクセスフィルター-変更」が表示されます。ここでアクセスフィルターの設定の変更を行います。

エントリーの削除

作成されたエントリーの一覧から、設定を変更したいエントリー番号にチェックを付けて「削除」ボタンを

クリックすると、確認のダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックすると、エントリーは削除されます。「キャンセル」ボタンをクリックすると、エントリーは削除されません。

その他

コンソール、Telnet 関連機能、および、FTP サーバーの設定を行います。

コンソール、Telnet 関連機能の詳細については、「運用・管理」/「ターミナルサービス」をご覧ください。「運用・管理」/「ターミナルサービス」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも、次の項目以外は同じことができます。

- コンソール（ログインセッション）の 1 画面当たりの表示行数の設定

CentreCOM GS924SS

システム設定 - その他

Version 1.6.19 MAC Addr: 00-09-24-00-02-01

保存 終了

システム設定

- システム
- 時間
- SNMP
- ログ
- アクセスフィルター
- その他

スイッチ設定

セキュリティ設定

機器監視

マネージメント

ユーザーインターフェース

☒ コンソール(非同期)ポート有効 コンソールタイムアウト Telnetポート番号

☒ Telnet接続有効 300 [0~32767](秒) 23 [1~65535]

☒ Webインターフェース有効 Telnetセッション最大数

4

HTTPポート番号

80 [1~65535]

設定 リセット

FTPサーバー

☒ FTPサーバー有効 ポート番号

21 [1~65535]

設定 リセット

Allied Telesis

Copyright©2012 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

ユーザーインターフェース

コンソール、Telnet 関連機能について、設定を行います。

コンソール（非同期）ポート有効

コンソールポートからのログインを有効にする場合に、チェックを付けます。

コンソールポートからのログインを無効にする場合に、チェックを外します。

コンソールタイムアウト

コンソールからのログインセッションで、入力待ちの状態が続いたときセッションが切断されるまでの時間を指定します。

Telnet 接続有効

Telnet サーバー機能を有効にする場合に、チェックを付けます。

Telnet サーバー機能を無効にする場合に、チェックを外します。

Telnet ポート番号

Telnet サーバーのリスニング TCP ポートを指定します。

Telnet セッション最大数

Telnet セッションの最大接続数をリストから選択します。

Web インターフェース有効

HTTP サーバーを有効にする場合に、チェックを付けます。

HTTP サーバーを無効にする場合に、チェックを外します。

＼ HTTP サーバーを無効にすると、本製品との通信ができなくなりますので、ご注意ください。

HTTP ポート番号

HTTP プロトコルのポート番号を指定します。

FTP サーバー

FTP サーバー有効

FTP サーバー機能を有効にする場合に、チェックを付けます。

FTP サーバー機能を無効にする場合に、チェックを外します。

ポート番号

FTP サーバーのリスニング TCP ポートを指定します。

スイッチ設定

ポート

スイッチポートの各種設定を行います。

CentreCOM GS924SS

スイッチ設定 - ポート

Version 1.6.19 MAC Addr: 00-09-24-00-02-01

保存 終了

システム設定

スイッチ設定

ポート

プロテクション

ミラーリング

トラッキング

バーチャルLAN

IGMP Snooping

QoS

LDF検出

受信レポート検出

その他

セキュリティ設定

機器監視

マネージメント

省電力モード

☐ 省電力モード有効

設定 リセット

ポート一覧

ポート	名称	通信モード	リンク	極性	ミラー	トランク	VlanID
1	-	1000MFull	Up	Auto(MDIX)	None	-	default(1)
2	-	-	Down	Auto	None	-	default(1)
3	-	-	Down	Auto	None	-	default(1)
4	-	-	Down	Auto	None	-	default(1)
5	-	-	Down	Auto	None	-	default(1)
6	-	-	Down	Auto	None	-	default(1)
7	-	-	Down	Auto	None	-	default(1)
8	-	-	Down	Auto	None	-	default(1)
9	-	-	Down	Auto	None	-	default(1)
10	-	-	Down	Auto	None	-	default(1)
11	-	-	Down	Auto	None	-	default(1)
12	-	-	Down	Auto	None	-	default(1)
13	-	-	Down	Auto	None	-	default(1)

変更 全ポート変更 ステータス表示 再表示

Allied Telesis

Copyright©2012 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

省電力モード

省電力モードは、リンクしていないスイッチポートへの電力供給を制限し、消費電力を抑える機能です。本機能の設定は、スイッチポート別ではなく、装置全体に対して機能します。

省電力モードを有効にするときは、「省電力モード有効」にチェックを付けます。

省電力モードを無効にするときは、「省電力モード有効」のチェックを外します。

ポート一覧

スイッチポートの情報が一覧で表示されます。

リストの中から設定を変更したいポートにチェックを付けて、「変更」ボタンをクリックすると、「ポート設定」が表示されます。

「全ポート変更」ボタンをクリックすると、すべてのポートの設定を変更することができます。

リストの中からステータスを表示したいポートにチェックを付けて、「ステータス表示」ボタンをクリックすると、「ポートステータス表示」が表示されます。

「再表示」ボタンをクリックすると、ポート一覧の情報が更新されます。

ポート設定

「ポート設定」では、スイッチポートの各種設定を行います。

- 1つのポートを選択して「変更」ボタンをクリックした場合は、設定項目には現在の設定値が表示されますが、複数のポートを選択して「変更」ボタンをクリックした場合には、設定項目にはデフォルト値が表示されます。
- 下記の設定項目は、選択したポートによっては、表示されないものもあります。また、「全ポート変更」ボタンをクリックした場合は、すべての項目が表示されますが、設定の必要なポートでのみ、設定は有効になります。
- 「ポート設定」の「設定」ボタンをクリックすると、対象ポートがいったんリンクダウンします。設定内容に変更がない場合や、ポート名称だけを変更した場合などにもリンクダウンしますのでご注意ください。

ポート名称 (Description)

ポート名称を設定します。

ポート状態 (Status)

スイッチポートの有効/無効をリストから選択します。

リンク (Link)

スイッチポートのポート状態を無効にしたときの物理的なリンクの有効/無効をリストから選択します。

フロー制御 (FlowControl)

フローコントロール (Full Duplex 時の IEEE 802.3x PAUSE 受信) の有効/無効をリストから選択します。

通信モード (Speed/Duplex)

ポートの通信速度とデュプレックスモードをリストから選択します。

受信可能フレームタイプ (Acceptable)

受信可能なフレームタイプをリストから選択します。

極性自動認識 (AutoMDI)

指定したスイッチポートで MDI/MDI-X 自動認識を有効 (Enable) にするか、無効 (Disable) にするかを、リストから選択します。(コンボポート以外のポートで設定有効)

- ※ 通信モードで、固定スピード (100 Mbps - Full Duplex、100 Mbps - Half Duplex、10 Mbps - Full Duplex、10 Mbps - Half Duplex) を設定した場合、MDI/MDI-X 自動認識は無効になります (有効には変更できません)。また、固定スピードからオートネゴシエーション (Auto-Negotiate、100 Mbps - Full Auto、100 Mbps - Half Auto、10 Mbps - Full Auto、10 Mbps - Half Auto、10-100 Mbps Auto) に変更した場合は、MDI/MDI-X 自動認識は無効のまま変わりません。

極性 (Polarity)

MDI/MDI-X 自動認識を無効にしたときの MDI/MDI-X の指定を、リストから選択します。(コンボポート以外のポートで設定有効)

コンボポート (Combo)

コンボポートの冗長設定をリストから選択します。(コンボポートのみ設定有効)

- ※ コンボポートがトランクグループに所属している場合、コンボポートの冗長設定 (Fiber/Copper の変更) の変更後は、設定を保存し、システムを再起動してください。設定はシステムの再起動後に有効になります。

ポートステータス表示

スイッチポートの詳細な情報が表示されます。

表示される内容については、SHOW SWITCH PORT コマンド (「スイッチング」の 74 ページ) の説明を参照してください。

ポートステータス表示	
ポート 1	
ポート名称(Description) -	受信可能フレームタイプ(AcceptableFrameTypes) Acceptable All Frames
ポート状態(Status) Enabled	セキュリティモード(SecurityMode) Automatic
リンク状態(LinkState) Link Up	ミラーリング対象パケットの向き(Mirroring) None
通信モード(ConfiguredSpeed/Duplex) Autonegotiate	ミラーポート(MirrorPort) No
通信速度(Speed) 100 Mbps, full duplex	有効なフロー制御方式(EnabledFlowControl) Pause
リンクアップからの経過時間(UpTime) 01:39:49	所属トランクグループ(Trunk) -
物理インターフェイス(PortMediaType) Ethernet CSMA/CD	所属タグVLAN名(TaggedVLANs) -
ポートの種類(PortType) 10/100/1000Base-T	所属ポートベースVLAN名(VlanID) default(1)
極性自動切替(AutoMDI) Enable	インGRESSフィルタリング(IngressFiltering) Off
極性(Polarity) MDI-X	ユーザープライオリティ(Priority) 0
ブロードキャストパケットのリミット -	
未学習ユニキャストパケットのリミット -	
マルチキャストパケットのリミット -	
OK	

プロテクション

パケットストームプロテクション（ブロードキャスト/マルチキャスト/未学習のユニキャストフレームの受信レートに上限を設定し、パケットストームを防止するための機能）に関する設定を行います。

パケットストームプロテクションの詳細については、「スイッチング」/「概要・基本設定」をご覧ください。「スイッチング」/「概要・基本設定」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。

CentreCOM GS924SS

スイッチ設定 - パケットストームプロテクション

Version 1.6.19 MAC Addr: 00-09-24-00-02-01

保存 | 終了

システム設定

スイッチ設定

ポート
 プロテクション
 ミラーリング
 トランキング
 バーチャルLAN
 IGMP Snooping
 QoS
 LDF検出
 受信シート検出
 その他

セキュリティ設定

機器監視

マネージメント

パケットストームプロテクション設定
 受信上限カウンタ(Limitation) (※適切な値に自動補正されます。)
 [0~15000](pps)

設定
リセット

ポート設定

ポート	Broadcastリミット	Unknown Unicastリミット	Multicastリミット
<input type="checkbox"/> 1	off	off	off
<input type="checkbox"/> 2	off	off	off
<input type="checkbox"/> 3	off	off	off
<input type="checkbox"/> 4	off	off	off
<input type="checkbox"/> 5	off	off	off
<input type="checkbox"/> 6	off	off	off
<input type="checkbox"/> 7	off	off	off
<input type="checkbox"/> 8	off	off	off
<input type="checkbox"/> 9	off	off	off
<input type="checkbox"/> 10	off	off	off
<input type="checkbox"/> 11	off	off	off

変更
全ポート変更

Allied Telesis
 Copyright©2012 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

パケットストームプロテクション設定

「受信上限カウンタ (Limitation)」に、パケットストームプロテクションで使用するしきい値を設定します。

ポート設定

ポートのパケットストームプロテクションの有効/無効の設定状態が一覧で表示されます。

一覧の中から、設定を変更したいポートにチェックを付け、「変更」ボタンをクリックすると、「パケットストームプロテクション設定」が表示されます。

「全ポート変更」ボタンをクリックすると、すべてのポートの設定を変更することができます。

パケットストームプロテクション設定

ブロードキャスト、未学習ユニキャスト、マルチキャストの各パケットに対する、パケットストームプロテクションの有効/無効を設定します。

- ＼ 1つのポートを選択して「変更」ボタンをクリックした場合は、設定項目には現在の有効/無効の状態が表示されますが、複数のポートを選択して「変更」ボタンをクリックした場合には、設定項目は無効として表示されます。

有効にするフレームにチェックを付けます。

無効にするフレームのチェックを外します。

未学習ユニキャストまたはマルチキャストを有効にする場合は、必ずブロードキャストも一緒に有効にしてください。

有効にできる組み合わせは、次のとおりです。

- ブロードキャストのみ
- ブロードキャストと未学習ユニキャスト
- ブロードキャストとマルチキャスト
- ブロードキャスト、未学習ユニキャストとマルチキャスト

ミラーリング

ポートミラーリング（特定のポートを通過するトラフィックをあらかじめ指定したミラーポートにコピーする機能）に関する設定を行います。

ポートミラーリングの詳細については、「スイッチング」/「概要・基本設定」をご覧ください。

「スイッチング」/「概要・基本設定」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。

CentreCOM GS924SS

スイッチ設定 - ミラーリング

Version 1.6.19 MAC Addr: 00-09-24-00-02-01

保存
終了

システム設定

スイッチ設定

ポート

プロテクション

ミラーリング

トランキング

バイチャルLAN

IGMP Snooping

QoS

LDF検出

受信レポート検出

その他

セキュリティ設定

機器監視

マネージメント

ミラーリング設定 (※ミラーリングを無効とした場合、設定は削除されます。)

☐ ミラーリング有効

ミラーポート(Mirror)

1	3	5	7	9	11	13	15	17	19	21	23
2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24

ソースポート(Source)

1	3	5	7	9	11	13	15	17	19	21	23
2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24

トラフィックの向き(Direction)
 None ▼

設定
リセット

Allied Telesis

Copyright©2012 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

ミラーリング有効

ポートミラーリング機能を有効にする場合に、チェックを付けます。

ポートミラーリング機能を無効にする場合に、チェックを外します。

ミラーポート (Mirror)

ミラーポートに設定したいポートにチェックを付けます。ミラーポートは、1ポートのみ設定が可能です。

ミラーポートを解除したいポートのチェックを外します。

ソースポート (Source)

ソースポートに設定したいポートにチェックを付けます。ソースポートは、1ポートのみ設定が可能です。

ソースポートを解除したいポートのチェックを外します。

トラフィックの向き (Direction)

ミラーリングするトラフィックの向きをリストから選択します。

※ ミラーリング機能を無効にすると、「ミラーリング有効」以外の設定も削除されます。

トランキング

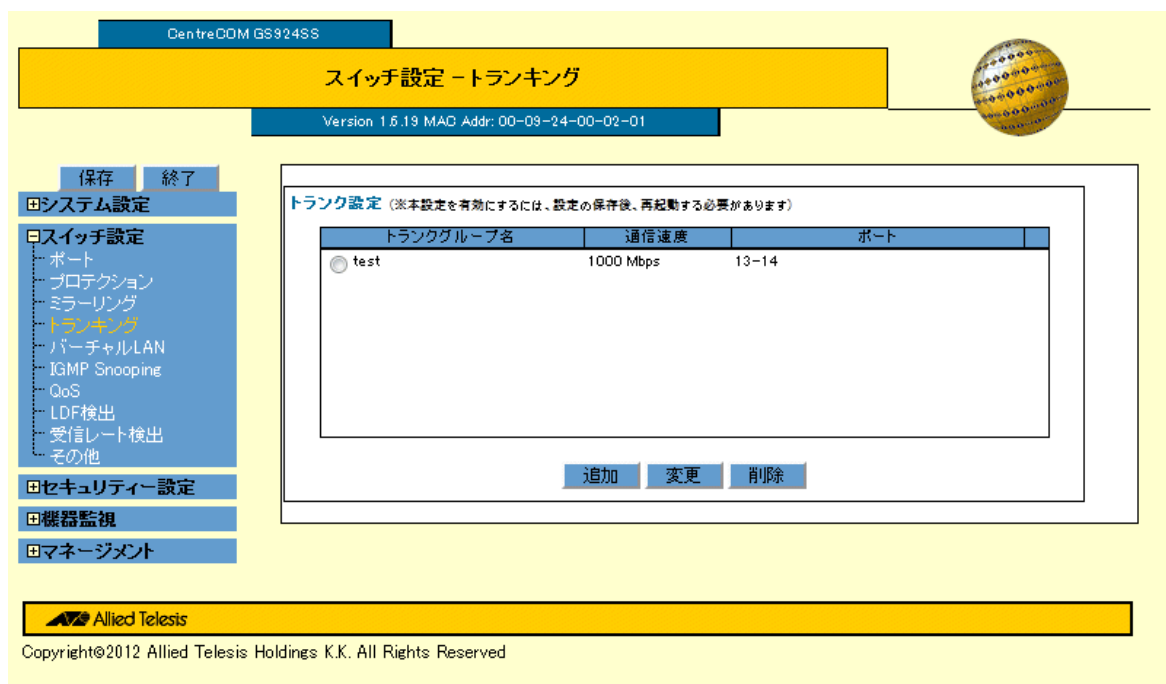
ポートトランキング（複数の物理ポートを束ねてスイッチ間の帯域幅を拡大する機能）に関する設定を行います。

※ 設定変更後は、設定を保存し、システムを再起動してください。設定はシステムの再起動後に有効になります。

ポートトランキングの詳細については、「スイッチング」/「概要・基本設定」をご覧ください。

「スイッチング」/「概要・基本設定」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしています

が、Web GUI でも同じことができます。



トランクグループの作成

「追加」ボタンをクリックすると、「トランク設定 - 追加」が表示されます。



次の項目を設定します。

トランクグループ名 (TrunkGroupName)

トランクグループ名を入力します。

通信速度 (Speed)

トランクポートの通信速度をリストから選択します。

ポート (Ports)

トランクグループに追加するポートにチェックを付けます。1 グループに最大 8 ポートまで追加可能です。また、非連続な設定も可能です。

トランクグループから削除するポートのチェックを外します。

トランクグループの設定変更

作成されたトランクグループの一覧から、設定を変更したいトランクグループ名を選択して「変更」ボタンをクリックすると、「トランク設定 - 変更」が表示されます。ここでトランクグループの設定変更を行います。

トランクグループの削除

作成されたトランクグループの一覧から、設定を変更したいトランクグループ名にチェックを付けて「削除」ボタンをクリックすると、確認のダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックすると、トランクグループは削除されます。「キャンセル」ボタンをクリックすると、トランクグループは削除されません。

バーチャル LAN

バーチャル LAN (VLAN) (スイッチの設定によって論理的にブロードキャストドメインを分割する機能) に関する設定を行います。

バーチャル LAN の詳細については、「バーチャル LAN」/「概要・基本設定」をご覧ください。

「バーチャル LAN」/「概要・基本設定」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。

CentreCOM GS924SS

スイッチ設定 - バーチャルLAN

Version 1.6.19 MAC Addr: 00-09-24-00-02-01

システム設定

スイッチ設定

ポート
 プロテクション
 ミラーリング
 トランッキング
バーチャルLAN
 IGMP Snooping
 QoS
 LDF検出
 受信レート検出
 その他

セキュリティ設定

機器監視

マネージメント

バーチャルLAN設定 (※本設定を有効にするには、保存後、再起動する必要があります)

IP インターフェース(VLAN): de fault

VLANモード (起動時: 802.1QタグVLAN)

☒ **802.1QタグVLAN**
☐ **マルチプルVLAN(Selectable Port版)**

☐ **イングレスフィルタリング有効**

802.1QタグVLAN設定

VLAN名	VID	タグ付きポート	タグなしポート
de fault	1	None	all

Copyright©2012 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

バーチャル LAN 設定

IP インターフェース (VLAN)

マネージメントポートの所属 VLAN が表示されます。

VLAN モード

使用する VLAN モードにチェックを付けます。

- ✧ VLAN モードを変更した場合は、必ず、設定を保存し、本製品を再起動してください。設定はシステムの再起動後に有効になります。
- ✧ VLAN モードを変更すると、IP アドレスの設定が消去されるので、VLAN モードを変更した後に IP アドレスを再設定する必要があります。

イングレスフィルタリング有効

イングレスフィルタリングを有効にする場合に、チェックを付けます。

イングレスフィルタリングを無効にする場合に、チェックを外します。

VLAN の作成 (802.1Q タグ VLAN モードの場合)

「追加」ボタンをクリックすると、「802.1Q タグ VLAN 設定 - 追加」が表示されます。

次の項目を設定します。

VLAN 名 (VlanName)

VLAN 名を入力します。

VID

VLAN ID を入力します。

ポート (Ports)

作成した VLAN に、タグ付きポートとして追加したい場合は、対象となるポート番号の横のリストで、「タグ付き」を選択します。

作成した VLAN に、タグなしポートとして追加したい場合は、対象となるポート番号の横のリストで、「タグなし」を選択します。

作成した VLAN から削除する場合は、対象となるポート番号の横のリストで、「None」を選択します。

VLAN の設定変更 (802.1Q タグ VLAN モードの場合)

作成された VLAN の一覧から、設定を変更したい VLAN 名にチェックを付けて「変更」ボタンをクリックすると、「802.1Q タグ VLAN 設定 - 変更」が表示されます。ここで VLAN の設定変更を行います。

VLAN の削除 (802.1Q タグ VLAN モードの場合)

作成された VLAN の一覧から、削除したい VLAN 名にチェックを付けて「削除」ボタンをクリックすると、確認のダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックすると、VLAN は削除されます。「キャンセル」ボタンをクリックすると、VLAN は削除されません。

マルチプル VLAN 設定

「VLAN モード」でマルチプル VLAN(Selected Port 版)を選択すると、マルチプル VLAN の設定を変更することができます。

CentreCOM GS924SS

スイッチ設定 - バーチャルLAN

Version 1.6.13 MAC Addr: 00-09-24-00-02-01

保存 終了

システム設定

スイッチ設定

ポート

プロテクション

ミラーリング

トラッキング

バーチャルLAN

IGMP Snooping

QoS

LDF検出

受信レート検出

その他

セキュリティ設定

機器監視

マネージメント

バーチャルLAN設定 (※本設定を有効にするには、保存後、再起動する必要があります)

IP インターフェース(VLAN): default

VLANモード (起動時: 802.1QタグVLAN)

☐ 802.1QタグVLAN ☒ マルチプルVLAN(Selectable Port版)

☐ インテグレーションフィルタリング有効

設定 リセット

802.1QタグVLAN設定

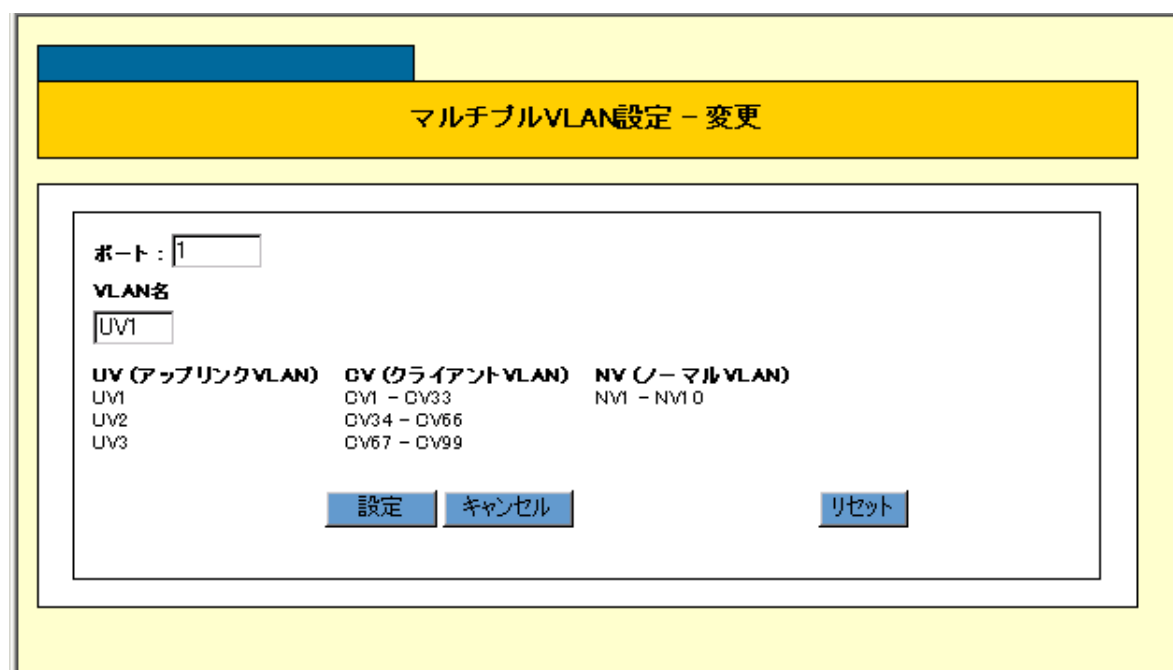
VLAN名	VID	タグ付きポート	タグなしポート
<input checked="" type="radio"/> default	1	None	all

追加 変更 削除

Allied Telesis

Copyright©2012 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

設定を変更したいポート番号にチェックを付けて「変更」ボタンをクリックすると、「マルチプル VLAN 設定 - 変更」が表示されます。



マルチプルVLAN設定 - 変更

ポート:

VLAN名

UV (アップリンクVLAN)	CV (クライアントVLAN)	NV (ノーマルVLAN)
UV1	CV1 - CV33	NV1 - NV10
UV2	CV34 - CV66	
UV3	CV67 - CV99	

「VLAN 名」に、対象ポートを割り当てる VLAN 名を入力します。入力できる VLAN 名は、次の中から選びます。

- アップリンク VLAN : UV1 ~ 3
- ノーマル VLAN : NV1 ~ 10
- クライアント VLAN: CV1 ~ 99

IGMP Snooping

IGMP Snooping (VLAN 環境において不要なマルチキャストトラフィックをフィルタリングする機能) に関する設定を行います。

IGMP Snooping の詳細については、「IGMP Snooping」/「概要・基本設定」をご覧ください。

「IGMP Snooping」/「概要・基本設定」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。

CentreCOM GS924SS

スイッチ設定 - IGMP Snooping

Version 1.6.19 MAC Addr: 00-09-24-00-02-01

保存 終了

- システム設定
- スイッチ設定
 - ポート
 - プロテクション
 - ミラーリング
 - トラッキング
 - バーチャルLAN
 - IGMP Snooping
 - QoS
 - LDF検出
 - 受信レポート検出
 - その他
- セキュリティ設定
- 機器監視
- マネージメント

設定

☐ IGMP Snooping 有効 タイムアウト時間(Timeout)

260 [0-86400](秒)

設定 リセット

Allied Telesis

Copyright©2012 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

設定

IGMP Snooping 有効

IGMP Snooping を有効にする場合に、チェックを付けます。

IGMP Snooping を無効にする場合に、チェックを外します。

タイムアウト時間 (Timeout)

IGMP Snooping 有効時、グループが作成後 Membership Report を受信しなくなってから、グループを削除するまでの時間を設定します。

QoS

パケットごとに送信時の優先度を変化させる QoS (Quality of Service) 機能に関する設定を行います。

QoS の詳細については、「QoS」/「概要・基本設定」をご覧ください。

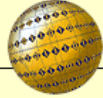
「QoS」/「概要・基本設定」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも、次の項目以外は同じことができます。

- QoS の設定/消去

CentreCOM GS924SS

スイッチ設定 - QoS

Version 1.6.19 MAC Addr: 00-09-24-00-02-01



保存 終了

システム設定

スイッチ設定

ポート
 プロテクション
 ミラーリング
 トランクリング
 バーチャルLAN
 IGMP Snooping
 QoS
 LDF検出
 受信レポート検出
 その他

セキュリティ設定

機器監視

マネージメント

QoS基本設定 (※ QoS有効を変更した場合、保存後、再起動する必要があります。)

☒ **QoS有効**
(起動時：有効)

スケジューリング(Scheduling)
☒ Weighted Round-Robin(WRR)
☐ Strict Priority(STRICT)

送信キューの重み付け(HWQueue)
 0: 1 1: 4 2: 10 3: 15


ユーザープライオリティーへの送信キュー割り当て(HWPriority)
 0: 1 1: 0 2: 0 3: 1 4: 2 5: 2 6: 3 7: 3

設定
リセット
DSCP設定

ポートプライオリティー

ポート	ユーザープライオリティー
1	0
2	0
3	0
4	0
5	0
6	0
7	0
8	0
9	0

変更
全ポート変更


Copyright©2012 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

QoS 基本設定

スケジューリング (Scheduling)

使用したい QoS スケジューリング方式にチェックを付けます。

送信キューの重み付け (HWQueue)

送信キューに重み付けを行います。

ユーザープライオリティーへの送信キュー割り当て (HWPriority)

QoS (Quality of Service) 機能の設定 (プライオリティータグフレームのユーザープライオリティー値と、本製品の送信キューのマッピング) を変更します。

DSCP 設定

「DSCP 設定」ボタンをクリックすると、「QoS - DSCP 設定」が表示されます。

CentreCOM GS924SS

スイッチ設定 - QoS

Version 1.6.19 MAC Addr: 00-09-24-00-02-01

保存 終了

システム設定

- ポート
- プロテクション
- ミラーリング
- トランキング
- バーチャルLAN
- IGMP Snooping
- QoS**
- LDF検出
- 受信シート検出
- その他

セキュリティ設定

機器監視

マネージメント

QoS - DSCP設定

DSCP	Queue	DSCP	Queue	DSCP	Queue	DSCP	Queue
<input type="checkbox"/> 0	0	<input type="checkbox"/> 1	0	<input type="checkbox"/> 2	0	<input type="checkbox"/> 3	0
<input type="checkbox"/> 4	0	<input type="checkbox"/> 5	0	<input type="checkbox"/> 6	0	<input type="checkbox"/> 7	0
<input type="checkbox"/> 8	0	<input type="checkbox"/> 9	0	<input type="checkbox"/> 10	0	<input type="checkbox"/> 11	0
<input type="checkbox"/> 12	0	<input type="checkbox"/> 13	0	<input type="checkbox"/> 14	0	<input type="checkbox"/> 15	0
<input type="checkbox"/> 16	0	<input type="checkbox"/> 17	0	<input type="checkbox"/> 18	0	<input type="checkbox"/> 19	0
<input type="checkbox"/> 20	0	<input type="checkbox"/> 21	0	<input type="checkbox"/> 22	0	<input type="checkbox"/> 23	0
<input type="checkbox"/> 24	0	<input type="checkbox"/> 25	0	<input type="checkbox"/> 26	0	<input type="checkbox"/> 27	0
<input type="checkbox"/> 28	0	<input type="checkbox"/> 29	0	<input type="checkbox"/> 30	0	<input type="checkbox"/> 31	0
<input type="checkbox"/> 32	0	<input type="checkbox"/> 33	0	<input type="checkbox"/> 34	0	<input type="checkbox"/> 35	0
<input type="checkbox"/> 36	0	<input type="checkbox"/> 37	0	<input type="checkbox"/> 38	0	<input type="checkbox"/> 39	0
<input type="checkbox"/> 40	0	<input type="checkbox"/> 41	0	<input type="checkbox"/> 42	0	<input type="checkbox"/> 43	0
<input type="checkbox"/> 44	0	<input type="checkbox"/> 45	0	<input type="checkbox"/> 46	0	<input type="checkbox"/> 47	0
<input type="checkbox"/> 48	0	<input type="checkbox"/> 49	0	<input type="checkbox"/> 50	0	<input type="checkbox"/> 51	0
<input type="checkbox"/> 52	0	<input type="checkbox"/> 53	0	<input type="checkbox"/> 54	0	<input type="checkbox"/> 55	0
<input type="checkbox"/> 56	0	<input type="checkbox"/> 57	0	<input type="checkbox"/> 58	0	<input type="checkbox"/> 59	0
<input type="checkbox"/> 60	0	<input type="checkbox"/> 61	0	<input type="checkbox"/> 62	0	<input type="checkbox"/> 63	0

Allied Telesis

Copyright©2012 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

設定を変更する DSCP 値にチェックを付け、「変更」ボタンをクリックすると、「QoS DSCP 設定」が表示されます。

「全 DSCP 変更」ボタンをクリックすると、すべての DSCP の設定を変更することができます。

QoS DSCP設定

DSCP 0

送信キュー番号(Queue)

- 1つの DSCP 値を選択して「変更」ボタンをクリックした場合は、設定項目には現在の設定が表示されますが、複数の DSCP 値を選択して「変更」ボタンをクリックした場合には、設定項目はデフォルト値が表示されます。

DSCP テーブルの設定の変更を行います。

送信キュー番号 (Queue)

DSCP 値に対応する、送信キュー番号をリストから選択します。

ポートプライオリティー

スイッチポートのユーザープライオリティー値を指定します。

ポートプライオリティーのポート一覧で、変更するポート番号にチェックを付け、「変更」ボタンをクリックすると、「QoS - ポート設定」が表示されます。

「全ポート変更」ボタンをクリックすると、すべてのポートの設定を変更することができます。

- 1つのポート番号を選択して「変更」ボタンをクリックした場合は、設定項目には現在の設定が表示されますが、複数のポート番号を選択して「変更」ボタンをクリックした場合には、設定項目はデフォルト値が表示されます。

ユーザープライオリティー (Priority)

スイッチポートのユーザープライオリティー値を指定します。

LDF 検出

LDF (Loop Detection Frame) によりループ発生の検出と動作の保全を行う LDF 検出機能に関する設定を行います。

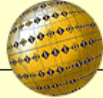
LED 検出の詳細については、「スイッチング」/「概要・基本設定」をご覧ください。

「スイッチング」/「概要・基本設定」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。

CentreCOM GS924SS

スイッチ設定 - LDF検出

Version 1.6.19 MAC Addr: 00-09-24-00-02-01



保存
終了

システム設定

スイッチ設定

ポート

プロテクション

ミラーリング

トラッキング

バーチャルLAN

IGMP Snooping

QoS

LDF検出

受信レート検出

その他

セキュリティ設定

機器監視

マネージメント

LDF検出有効

1 3 5 7 9 11 13 15 17 19 21 23
☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24
☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

すべて選択
すべて解除

設定
リセット

ポート一覧

ポート	状態	タイマー	ポート有効	リンク	B/C 通信
<input type="checkbox"/> 1	--	--	Enabled	Up	Forward
<input type="checkbox"/> 2	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 3	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 4	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 5	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 6	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 7	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 8	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 9	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 10	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 11	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 12	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 13	--	--	Enabled	Down	Forward

変更
全ポート変更
再表示



Copyright©2012 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

LDF 検出有効

LDF 検出を有効にする場合に、チェックを付けます。

LDF 検出を無効にする場合に、チェックを外します。

ポート設定

スイッチポートの LDF 検出に関する値を設定します。

LDF 検出のポート一覧で、変更するポート番号にチェックをつけ、「変更」ボタンをクリックすると、「LDF 検出 - ポート設定」が表示されます。

「全ポート変更」ボタンをクリックすると、すべてのポートの設定を変更することができます。

LDF検出 - ポート設定

ポート 1

LDF検出時のアクション(Action)

LDF送信間隔(Interval)
 [1-1000000](秒)

セキュアフレーム(Secure)

ブロックタイムアウト(BlockTimeout)
 [1-86400](秒)

- ※ 1つのポート番号を選択して「変更」ボタンをクリックした場合は、設定項目には現在の設定が表示されますが、複数のポート番号を選択して「変更」ボタンをクリックした場合には、設定項目はデフォルト値が表示されます。

LDF 検出時のアクション (Action)

LDF を検出した場合のアクションをリストから選択します。

LDF 送信間隔 (Interval)

LDF の送信間隔を設定します。

セキュアフレーム (Secure)

セキュアな LDF を受信するかどうかをリストから選択します。

ブロックタイムアウト (BlockTimeout)

アクション実行から実行前の状態への自動復旧の有効 (Enable) / 無効 (Disable) をリストから選択します。有効に設定した場合、アクション実行から復旧までの時間を入力します。

受信レート検出

受信レートの検出によりループ発生時の動作の保全を行う受信レート検出機能に関する設定を行います。

受信レート検出の詳細については、「スイッチング」/「概要・基本設定」をご覧ください。

「スイッチング」/「概要・基本設定」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。

CentreCOM GS924SS

スイッチ設定 - 受信レート検出

Version 1.6.19 MAC Addr: 00-09-24-00-02-01

保存 終了

システム設定
 ■ **スイッチ設定**
 ポート
 プロテクション
 ミラーリング
 トラッキング
 バーチャルLAN
 IGMP Snooping
 QoS
 LDF検出
 受信レート検出
 その他
 ■ セキュリティ設定
 ■ 機器監視
 ■ マネージメント

受信レート検出有効

1	3	5	7	9	11	13	15	17	19	21	23
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

すべて選択
すべて解除

設定
リセット

ポート一覧

ポート	高レート	タイマー	低レート	タイマー	ポート有効	リンク	B/G 通信
<input type="checkbox"/> 1	--	--	--	--	Enabled	Up	Forward
<input type="checkbox"/> 2	--	--	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 3	--	--	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 4	--	--	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 5	--	--	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 6	--	--	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 7	--	--	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 8	--	--	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 9	--	--	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 10	--	--	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 11	--	--	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 12	--	--	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 13	--	--	--	--	Enabled	Down	Forward

変更
全ポート変更
再表示

Allied Telesis
 Copyright©2012 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

受信レート検出有効

受信レート検出を有効にする場合に、チェックを付けます。

受信レート検出を無効にする場合に、チェックを外します。

ポート設定

スイッチポートの受信レート検出に関する値を設定します。

受信レート検出のポート一覧で、変更するポート番号にチェックをつけ、「変更」ボタンをクリックすると、「受信レート検出 - ポート設定」が表示されます。

「全ポート変更」ボタンをクリックすると、すべてのポートの設定を変更することができます。

受信レート検出 - ポート設定

ポート 1

高レート検出時のアクション(HighRate Action)

高レートしきい値(HighRate Threshold)
 [2-1024000](Kbps)

低レート検出時のアクション(LowRate Action)

低レートしきい値(LowRate Threshold)
 [1-1023999](Kbps)

ブロックタイムアウト(BlockTimeout)
 [1-86400](秒)

- 1つのポート番号を選択して「変更」ボタンをクリックした場合は、設定項目には現在の設定が表示されますが、複数のポート番号を選択して「変更」ボタンをクリックした場合には、設定項目はデフォルト値が表示されます。

高レート検出時のアクション (HighRateAction)

受信レートが高レートのしきい値を超えた場合のアクションをリストから選択します。

高レートしきい値 (HighRateThreshold)

受信レートが高レートのしきい値を設定します。

低レート検出時のアクション (LowRateAction)

受信レートが低レートのしきい値を超えた場合のアクションをリストから選択します。

低レートしきい値 (LowRateThreshold)

受信レートが低レートのしきい値を設定します。

ブロックタイムアウト (BlockTimeout)

アクション実行から実行前の状態への自動復旧の有効 (Enable) / 無効 (Disable) をリストから選択します。有効に設定した場合、アクション実行から復旧までの時間を入力します。

その他

CentreCOM GS924SS

スイッチ設定 - その他

Version 1.6.19 MAC Addr: 00-09-24-00-02-01

保存 終了

システム設定

スイッチ設定

- ポート
- プロテクション
- ミラーリング
- トラッキング
- バーチャルLAN
- IGMP Snooping
- QoS
- LDF検出
- 受信シート検出
- その他

セキュリティ設定

機器監視

マネージメント

フォワーディングデータベース

☒ エージングタイマー有効 エージングタイム 300 [1-16383](秒)

設定 リセット

BPDUPケット透過

☐ BPDUPケット透過有効

設定 リセット

EAPパケット透過 (※ポート認証が有効な場合、本機能は使用できません)

☐ EAPパケット透過有効

設定 リセット

Allied Telesis

Copyright©2012 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

フォワーディングデータベース

フォワーディングデータベース (FDB) のエージングタイマーに関する設定を行います。

エージングタイマー有効

エージングタイマーを有効にする場合に、チェックを付けます。

エージングタイマーを無効にする場合に、チェックを外します。

エージングタイム

エージングタイムを指定します。

BPDUPケット透過

BPDUPケット透過機能の有効/無効を設定します。

BPDUPケット透過有効

BPDUPケット透過機能を有効にする場合にチェックを付けます。

BPDUPケット透過機能を無効にする場合にチェックを外します。

EAPパケット透過

EAPパケット透過機能の有効/無効を設定します。

EAPパケット透過有効

EAP パケット透過機能を有効にする場合にチェックを付けます。
EAP パケット透過機能を無効にする場合にチェックを外します。

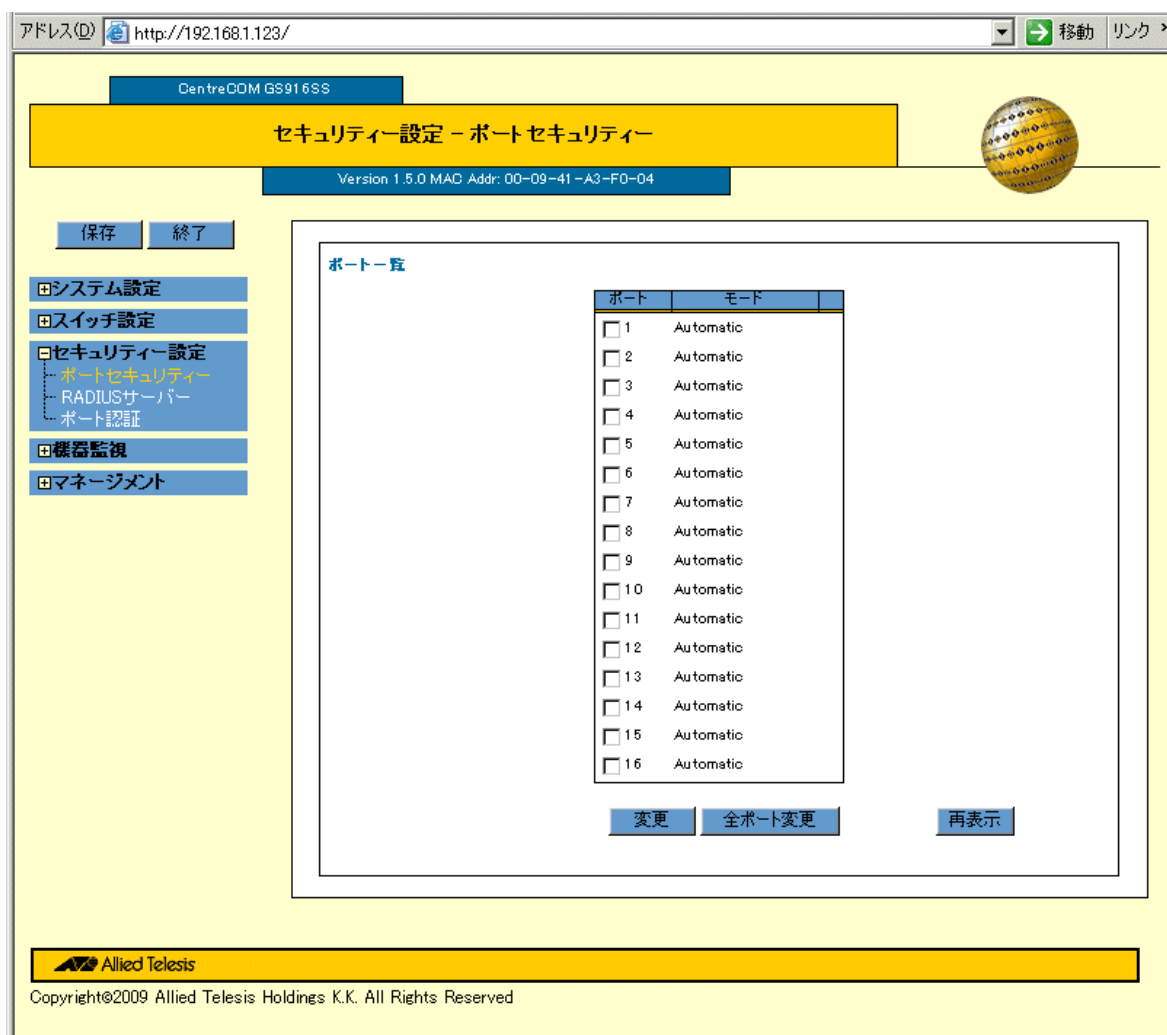
セキュリティ設定

ポートセキュリティ

ポートセキュリティ（MAC アドレスに基づき、ポートごとに通信を許可するデバイスを制限する機能）に関する設定を行います。

ポートセキュリティの詳細については、「スイッチング」/「概要・基本設定」をご覧ください。

「スイッチング」/「概要・基本設定」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。



ポート一覧

ポートセキュリティの状態が一覧で表示されます。

一覧の中から、設定を変更したいポートにチェックを付け、「変更」ボタンをクリックすると、「ポートセキュ

リティイー設定」が表示されます。

「再表示」ボタンをクリックすると、表示が更新されます。

ポートセキュリティ設定

「ポートセキュリティ設定」で、ポートセキュリティの設定を行います。

- 1つのポート番号を選択して「変更」ボタンをクリックした場合は、設定項目には現在の設定が表示されますが、複数のポート番号を選択して「変更」ボタンをクリックした場合には、設定項目はデフォルト値が表示されます。

セキュリティモード

セキュリティモードを有効にする場合は、「Secured」にチェックを付けます。

セキュリティモードを解除する場合は、「Automatic」にチェックを付けます。

- ポートセキュリティが有効なポートに対して、通信を許可するアドレスを手動登録するには、「機器監視」 - 「FDB」の「スタティックエントリー登録」で、スタティック MAC アドレスを登録します。

RADIUS サーバー

ユーザー認証、ポート認証で使用する RADIUS サーバー（Remote Authentication Dial In User Server）の登録および、RADIUS サーバーのアカウント機能に関する設定を行います。

RADIUS サーバーの詳細については、「ポート認証」/「概要・基本設定」をご覧ください。

「ポート認証」/「概要・基本設定」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。

アドレス http://192.168.1.123/ 移動 リンク »

CentreCOM GS916SS

セキュリティ設定 - RADIUSサーバー

Version 1.5.0 MAC Addr: 00-09-41-A3-F0-04

保存 終了

システム設定

スイッチ設定

セキュリティ設定

- ポートセキュリティ
- RADIUSサーバー**
- ポート認証

機器監視

マネージメント

RADIUSアカウント設定

☐ アカウンティング有効(Status)

アカウンティングポート番号(ServerPort)
 [1~65535]

☐ インターリムパケット送信有効(UpdateEnable)

アカウンティング情報蓄積タイプ(Type)

アカウンティング開始タイミング(Trigger)

インターリムパケット送信間隔(Interval)
 [30~300](秒)

設定 リセット

RADIUSクライアント設定

応答待ち時間(Timeout)
 [1~15](秒)

要求抑制時間(Deadtime)
 [0~1440](分)

再送回数(Retransmitcount)
 [1~5](回)

RADIUSサーバー無応答時の動作(DEAD-ACTION)

設定 リセット

認証サーバーリスト

優先順位	サーバー	ポート	パスワード	リクエスト	リプライ	ステータス
○ 1	0.0.0.0	1812	<Not Defined>	0	0	Alive
○ 2	0.0.0.0	1812	<Not Defined>	0	0	Alive

変更 再表示

Allied Telesis

Copyright©2009 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

RADIUS アカウント設定

アカウンティング設定

RADIUS サーバーのアカウンティング機能を有効にする場合にチェックを付けます。

RADIUS サーバーのアカウンティング機能を無効にする場合にチェックを外します。

アカウンティングポート番号 (ServerPort)

RADIUS サーバーのアカウンティング用 UDP ポート番号を指定します。

アカウンティングポート情報蓄積タイプ (Type)

アカウンティング情報を転送して蓄積する場所を、リストから選択します。

アカウントिंगポート開始タイミング (Trigger)

アカウントING要求パケットをサーバーに送出するタイミングをリストから選択します。

インターリムパケット送信有効 (UpdateEnable)

ユーザーが利用中に、利用状況をサーバーに送信するアカウントING要求 (インターリム) パケットを送信する場合はチェックを付けます。

インターリムパケット送信間隔 (Interval)

インターリムパケットを送信する間隔を設定します。

RADIUS クライアント設定

応答待ち時間 (Timeout)

RADIUS サーバーへの要求に対する応答待ち時間を 1 ~ 15 秒の範囲で設定します。デフォルトは 6 秒。

要求抑制時間 (Deadtime)

RADIUS サーバーへの要求が規定回数 (1 + RETRANSMITCOUNT 回) タイムアウトしたときに、該当サーバーが「使用不可」と見なし同サーバーの使用を抑制する時間を 0 ~ 1440 分の範囲で設定します。デフォルトは 0 分。

再送回数 (Retransmitcount)

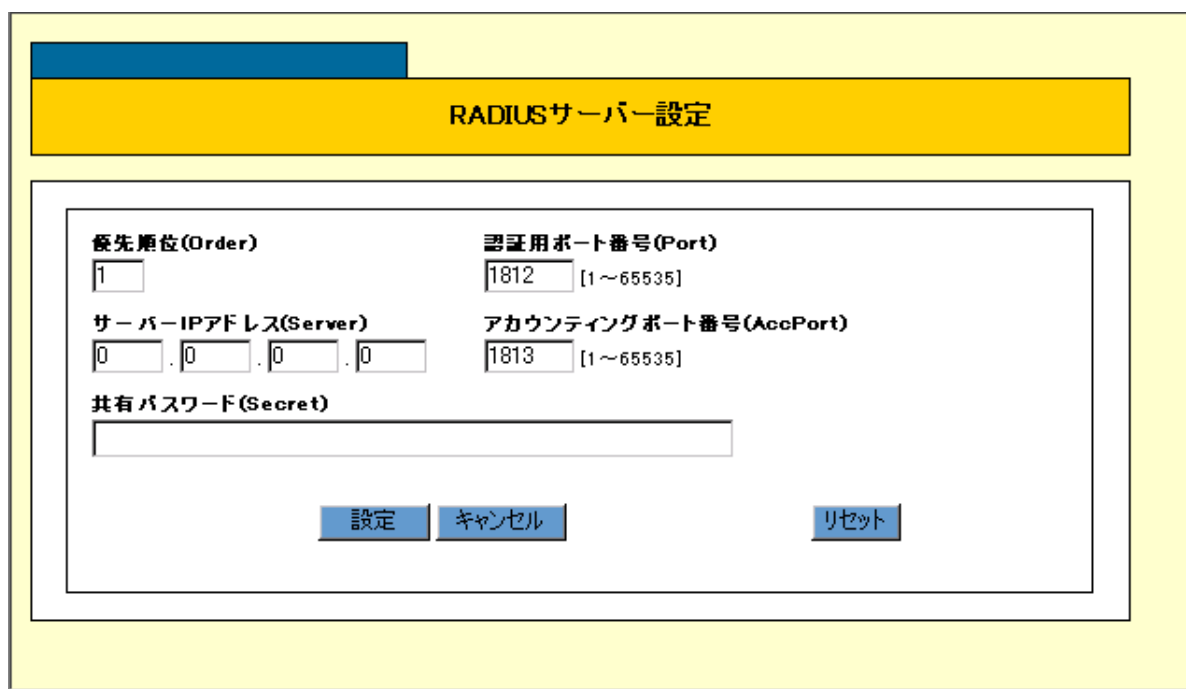
RADIUS サーバーへの要求再送回数を 1 ~ 5 回の範囲で設定します。デフォルトは 3 回。

RADIUS サーバー無応答時の動作 (DEAD-ACTION)

RADIUS サーバーからの応答がない時、通信を許可する/許可しないを選択します。デフォルトは許可しない。

RADIUS サーバー設定

認証サーバーリストで、設定を変更するサーバーにチェックを付け、「変更」ボタンをクリックすると、「RADIUS サーバー設定」が表示されます。



RADIUSサーバー設定

優先順位(Order)	認証用ポート番号(Port)
<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="1812"/> [1~65535]
サーバーIPアドレス(Server)	アカウントングポート番号(AccPort)
<input type="text" value="0"/> . <input type="text" value="0"/> . <input type="text" value="0"/> . <input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="1813"/> [1~65535]
共有パスワード(Secret)	
<input type="text"/>	

「RADIUS サーバー設定」で、RADIUS サーバーに関する設定を行います。

優先順位 (Order)

RADIUS サーバーの優先順位を指定します。「1」固定です。

認証用ポート番号 (Port)

RADIUS サーバーの認証用 UDP ポート番号を指定する。

サーバー IP アドレス (Server)

RADIUS サーバーの IP アドレスを指定する。

アカウントングポート番号 (AccPort)

RADIUS サーバーのアカウントング用 UDP ポート番号を指定します。

共有パスワード (Secret)

RADIUS サーバーとの通信に使う共有パスワードを指定します。

ポート認証

ポート単位で LAN 上の機器を認証する IEEE 802.1X 認証（以下、ポート認証）に関する設定を行います。ポート認証の詳細については、「ポート認証」/「概要・基本設定」をご覧ください。

「ポート認証」/「概要・基本設定」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。

アドレス http://192.168.1.123/ 移動 リンク »

CentreCOM GS916SS

セキュリティ設定 - ポート認証

Version 1.5.0 MAC Addr: 00-09-41-A3-F0-04

保存 終了

☒ システム設定
☒ スイッチ設定
☒ セキュリティ設定
 ポートセキュリティ
 RADIUSサーバー
 ポート認証
☐ 機器監視
☐ マネージメント

ポートアクセス設定 (※EAP/パケット透過が有効な場合、本機能は使用できません)

☐ ポート認証有効
 802.1X認証プロトコル(Method)
RADIUS EAP

設定 リセット

ポート一覧

ポート	認証	タイプ	VLAN	モード	認証状態	状態	追加情報
<input type="checkbox"/> 1	----	None	----	----	----	----	-----
<input type="checkbox"/> 2	----	None	----	----	----	----	-----
<input type="checkbox"/> 3	----	None	----	----	----	----	-----
<input type="checkbox"/> 4	----	None	----	----	----	----	-----
<input type="checkbox"/> 5	----	None	----	----	----	----	-----
<input type="checkbox"/> 6	----	None	----	----	----	----	-----
<input type="checkbox"/> 7	----	None	----	----	----	----	-----
<input type="checkbox"/> 8	----	None	----	----	----	----	-----
<input type="checkbox"/> 9	----	None	----	----	----	----	-----
<input type="checkbox"/> 10	----	None	----	----	----	----	-----
<input type="checkbox"/> 11	----	None	----	----	----	----	-----

変更 全ポート変更 Supplicant MAC透過設定 再表示

Allied Telesis
 Copyright©2009 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

ポートアクセス設定

ポート認証有効

ポート認証モジュールを有効にする場合にチェックを付けます。

ポート認証モジュールを無効にする場合にチェックを外します。

認証プロトコル

ポート認証モジュールで使用する認証プロトコルを、リストから選択します。

ポート一覧

ポートごとのポート認証の設定と状態が一覧で表示されます。

一覧から設定を変更するポートにチェックを付け、「変更」ボタンをクリックすると、「ポート認証 - ポート設定」が表示されます。

「全ポート変更」ボタンをクリックすると、すべてのポートの設定を変更することができます。

「Supplicant MAC 設定」ボタンをクリックすると、各ポートの Supplicant MAC 透過アドレスを設定できます。


ポート設定

「ポート認証 - ポート設定」で、ポートのポート認証の設定を行います。

- 1 つのポート番号を選択して「変更」ボタンをクリックした場合は、設定項目には現在の設定が表示されますが、複数のポート番号を選択して「変更」ボタンをクリックした場合には、設定項目はデフォルト値が表示されます。

ポート認証機能無効

ポートのポート認証機能を無効にしたい場合は、「ポート認証無効」をチェックを付けます。



Port Authentication - Microsoft Internet Explorer

ポート認証 - ポート設定

ポート 1

☒ ポート認証無効
 ☐ Authenticatorポート
 ☐ Supplicantポート

設定 キャンセル リセット

Supplicant ポートの設定

ポートを Supplicant ポートに指定したい場合は、「Supplicant ポート」にチェックを付け、次の項目を設定します。

Port Authentication - Microsoft Internet Explorer

ポート認証 - ポート設定

ポート 1

☐ ポート認証無効
 ☐ Authenticatorポート
 ☒ Supplicantポート

認証方法 (PortAuth) (※ミラーノトランクノスバニングツリノセキュリティポートでは設定できません)
 802.1X

応答待ち時間 (AuthPeriod) [1-300](秒)
 30

EAPOL-Start再送間隔 (StartPeriod) [1-60](秒)
 30

認証失敗時の無通信時間 (HeldPeriod) [0-65535](秒)
 60

ユーザー名 (UserName)

EAPOL-Start最大送信回数 (MaxStart) [1-10](回)
 3

パスワード (UserPassword)

- 認証方法 (PortAuth) : 認証方法。802.1X (802.1X 認証) のみ
- 応答待ち時間 (AuthPeriod) : Authenticator に EAP-Response パケットを送信した後、Authenticator からの応答を待つ時間を指定
- 認証失敗時の無通信時間 (HeldPeriod) : 認証失敗後、Authenticator との通信を試みない期間を指定
- EAPOL-Start 最大送信回数 (MaxStart) : EAPOL-Start パケットの最大送信回数を指定
- EAPOL-Start 再送間隔 (StartPeriod) : Authenticator に EAPOL-Start パケットを再送信する間隔を指定
- ユーザー名 (UserName) : 指定スイッチポートが Supplicant として動作する場合に使うユーザー名を指定。必ずパスワードと組で指定

- パスワード (UserPassword) : 指定スイッチポートが Supplicant として動作する場合に使うパスワードを指定。必ずユーザー名と組で指定

Authenticator ポートの設定

ポートを Authenticator ポートに指定したい場合は、「Authenticator ポート」にチェックを付け、次の項目を設定します。

ポート 1

☐ ポート認証無効 ☒ Authenticatorポート ☐ Supplicantポート

認証方法 (PortAuth) (*ミラーポート/ランク/ブス/パニング/セキュリティポートでは設定できません)
 802.1X

モード (Mode)
 Single

ポートコントロール (Control)
 Auto

Supplicant再認証 (ReauthEnabled)
 Enabled

Supplicantタイムアウト時間 (SuppTimeout)
 30 [1-600](秒)

Serverタイムアウト時間 (ServerTimeout)
 30 [1-600](秒)

Piggy backモード (PiggyBack)
 Disabled

ダイナミックVLAN (Vlan Assignment) (*マルチプルVLANに所属するポートは、Enabledには設定できません)
 Enabled

ゲストVLAN (GuestVlan) ゲストVLAN [VLAN名 or 1-4094]
 Disabled

Secure VLAN
 On

認証失敗後の通信拒否期間 (QuietPeriod)
 60 [0-65535](秒)

Supplicant再認証間隔 (ReauthPeriod)
 3600 [1-86400](秒)

EAPOL-Request最大送信回数 (MaxReq)
 2 [1-10](回)

EAPOL再送信間隔 (TxPeriod)
 30 [1-65535](秒)

設定 キャンセル リセット

- 認証方法 (PortAuth) : 認証方法。802.1X (802.1X 認証) のみ
- モード (Mode) : Single、Multi から選択
- ポートコントロール (Control) : 手動設定による Authenticator ポートの状態をリストから選択

- 認証失敗後の通信拒否期間 (QuietPeriod) : Supplicant の認証に失敗した後、Supplicant との通信を拒否する期間を指定
- Supplicant 再認証 (ReauthEnabled) : Supplicant ポートの再認証を行うかどうかをリストから選択
- Supplicant 再認証間隔 (ReauthPeriod) : Supplicant の再認証間隔を指定
- Supplicant タイムアウト時間 (SuppTimeout) : Supplicant に EAP-Request を送信した後、Supplicant からの応答を待つ時間を指定
- EAPOL-Request の最大送信回数 (MaxReq) : Supplicant に対する EAPOL-Request パケットの最大再送回数を指定
- Server タイムアウト時間 (ServerTimeout) : RADIUS サーバーに Access-Request を送信した後、RADIUS サーバーからの応答を待つ時間を指定
- EAPOL 再送間隔 (TxPeriod) : Supplicant に EAPOL パケットを再送信する間隔を指定
- Piggy back モード (PiggyBack) : Piggy back モードの有効/無効を選択
- ダイナミック VLAN (VlanAssignment) : 有効/無効を選択
- ゲスト VLAN (GuestVlan) : 有効/無効を選択
- Secure VLAN : On/Off を選択

Supplicant MAC 透過設定

「ポート認証 - Supplicant MAC 透過設定」で、ポートの Supplicant MAC 透過アドレスの設定を行います。

- ✧ Supplicant MAC 透過設定では、複数のポートを選択することはできません。

ポート認証 - Supplicant MAC透過設定

ポート 1

登録 Supplicant MAC
 <No registration> ▼ **パラメーター読出し** **削除** **全削除**

パラメーター設定

MACアドレス(MAC)
 - - - - -

ポートコントロール(Control)
 ForceAuth ▼

追加 **リセット**

OK

登録 Supplicant MAC

既に登録されている Supplicant MAC 透過アドレスを選択します。

「パラメーター読出し」ボタンをクリックすると、選択した Supplicant MAC 透過アドレスが「パラメーター設定」に表示されます。

「削除」ボタンをクリックすると、確認のダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックすると、選択した MAC アドレスは削除されます。「キャンセル」ボタンをクリックすると、MAC アドレスは削除されません。

「全削除」ボタンをクリックすると、確認のダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックすると、該当ポートに登録されたすべての Supplicant MAC 透過アドレスが削除されます。「キャンセル」ボタンをクリックすると、MAC アドレスは削除されません。

パラメーター設定

MAC アドレス (MAC)

登録する MAC アドレスを指定します。

ポートコントロール (Control)

手動設定による Authenticator ポートの状態をリストから選択します。

機器監視

システム情報

システム情報を表示します。

CentreCOM GS924SS

機器監視 - システム情報

Version 1.6.19 MAC Addr: 00-09-24-00-02-01

保存 終了

システム設定

スイッチ設定

セキュリティ設定

機器監視

システム情報

ログ

統計カウンター

FDB

LDF検出

受信レポート検出

IGMP Snooping

マネージメント

1 3 5 7 9 11 13 15 17 19 21 23R

2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24R

23 24

Active

Disabled

表示更新

自動更新 ☒ する ☐ しない

更新間隔

[1-99] (分)

設定

システム情報

SysDescription	CentreCOM GS924SS Ver 1.6.19 B03
SysContact	
SysLocation	
SysName	
SysUpTime	263617(00:43:56)
Release Version	1.6.19
Release built	B03 (Jun 8 2012 at 17:07:24)

ハードウェア情報

DRAM	32768 kB
Flash	8192 kB
MACアドレス	00-09-24-00-02-01

Flash PROM	RAM	SW chip	UART	温度	FAN1	FAN2
Good	Good	Good	Good	Normal	Normal	Normal

電圧

1.25V	1.8V	2.5V	3.3V	5.0V
Normal	Normal	Normal	Normal	Normal

詳細情報表示

詳細情報保存

Allied Telesis

Copyright©2012 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

ポートの状態表示

ポートの状態は、メインエリアの製品前面の図のなかに、下記の状態がグラフィカルに表示されます。



1000BASE-T ポートがリンクしていない状態



1000BASE-T ポートがリンクしている状態



1000BASE-T ポートがリンクしているが、無効の状態



SFP ポートに SFP が挿入されている状態



SFP がリンクしている状態



SFP がリンクしているが無効の状態

、本製品の SFP スロットの状態は、常に、SFP モジュールが挿入されている状態として表示されます。

ポートステータス表示

製品前面図の中のポートの部分をクリックすると、「ポートステータス表示」が表示されます。

表示される項目については、SHOW SWITCH PORT コマンド（「スイッチング」の 74 ページ）を参照してください。

ポートステータス表示	
ポート 1	
ポート名称(Description) -	受信可能フレームタイプ(AcceptableFrameTypes) Acceptable All Frames
ポート状態(Status) Enabled	セキュリティモード(SecurityMode) Automatic
リンク状態(LinkState) Link Up	ミラーリング対象パケットの向き(Mirroring) None
通信モード(ConfiguredSpeed/Duplex) Autonegotiate	ミラーポート(MirrorPort) No
通信速度(Speed) 100 Mbps, full duplex	有効なフロー制御方式(EnabledFlowControl) Pause
リンクアップからの経過時間(Uptime) 01:39:49	所属トランクグループ(Trunk) -
物理インターフェイス(PortMediaType) Ethernet CSMA/CD	所属タグ VLAN 名(Tagged VLANs) -
ポートの種類(PortType) 10/100/1000Base-T	所属ポートベース VLAN 名(VlanID) default(1)
極性自動切替(AutoMDI) Enable	インGRESSフィルタリング(IngressFiltering) Off
極性(Polarity) MDI-X	ユーザープライオリティ(Priority) 0
ブロードキャストパケットのリミット -	
未学習ユニキャストパケットのリミット -	
マルチキャストパケットのリミット -	
OK	

システム情報の自動更新

システム情報は、1 分ごとに自動的に更新されます。

自動更新を行いたくない場合は、「自動更新」の「しない」にチェックを付けます。

また、「表示更新」ボタンをクリックすると、手動で情報を更新することもできます。

自動更新の間隔は 1 ~ 99 分に変更できます。

- 自動更新の間隔、自動更新するかどうかの設定は、Cookie に保存されます。Cookie は、同じコンピューターからの同じホストに対する設定を保持し、次の Internet Explorer 起動時も、同じ状態になります。Internet Explorer の設定で、Cookie が無効になっていた場合は、次の Internet Explorer 起動時は、「自動更新する」、「自動更新の間隔は 1 分」の設定になります。

システム情報/ハードウェア情報

システムの情報が表示されます。表示される項目については、SHOW SYSTEM コマンド（「運用・管理」の 164 ページ）を参照してください。

詳細情報

「詳細情報表示」ボタンをクリックすると、「システム-詳細表示」が表示されます。

「システム-詳細表示」には、SHOW SYSTEM コマンド（「運用・管理」の 164 ページ）の実行結果、SHOW FILE コマンド（「運用・管理」の 137 ページ）の実行結果、SHOW CONFIG コマンド（「運用・管理」の 132 ページ）で DYNAMIC を指定下実行結果、SHOW LOG コマンド（「運用・管理」の 144 ページ）の実行結果が続けて表示されます。

「詳細情報保存」ボタンをクリックすると、SHOW SYSTEM コマンド（「運用・管理」の 164 ページ）の実行結果、SHOW FILE コマンド（「運用・管理」の 137 ページ）の実行結果、SHOW CONFIG コマンド（「運用・管理」の 132 ページ）で DYNAMIC を指定下実行結果、SHOW LOG コマンド（「運用・管理」の 144 ページ）の実行結果がテキスト形式で保存できます。

システム - 詳細表示

SHOW SYSTEM

Switch System Status Date 2005-01-01 Time 00:00:54

Board Bay Board Name

Base - GS916SS

Memory - DRAM : 32768 kB FLASH : 8192 kB MAC : 00-09-41-A3-F0-04

SysDescription : CentreCOM GS916SS Ver 1.5.0 B01

SysContact :

SysLocation :

SysName :

SysUpTime : 6594(00:01:05)

Release Version : 1.5.0

Release built : B01 (Dec 14 2009 at 12:11:30)

Flash PROM : Good

RAM : Good

SW chip : Good

UART : Good

FAN1 : Normal FAN2 : Normal

1.25V : Normal 1.8V : Normal

2.5V : Normal 3.3V : Normal

5.0V : Normal Temperature : Normal

Configuration

Boot configuration file : basic.cfg (exist)

Current configuration : None

SHOW FILE

Filename	Device	Size	Created	Attribute

OK

ログ

ログやログカウンターを表示します。

The screenshot shows the '機器監視 - ログ' (Log Monitoring - Log) page. The top bar indicates 'CentreCOM GS924SS' and 'Version 1.6.19 MAC Addr: 00-09-24-00-02-01'. A sidebar on the left contains navigation links: '保存' (Save), '終了' (End), 'システム設定' (System Settings), 'スイッチ設定' (Switch Settings), 'セキュリティ設定' (Security Settings), '機器監視' (Log Monitoring), 'システム情報' (System Information), 'ログ' (Log), '統計カウンター' (Statistics Counter), 'FDB', 'LDF検出' (LDF Detection), '受信レポート検出' (Receive Report Detection), 'IGMP Snooping', and 'マネージメント' (Management). The main content area has two sections: 'ログカウンター' (Log Counter) and 'ログ表示条件' (Log Display Conditions). The 'ログカウンター' section shows a table with log generation and output counts. The 'ログ表示条件' section allows setting the display order and number of items.

ログカウンター	
ログ生成数:	17
Temporaryへの出力数:	17
Syslogへの出力数:	0

ログクリア

ログ表示条件	
表示順 古い順 ▼	表示件数 3000 [1-3000](件)

ログ表示 ログ保存

Copyright©2012 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

ログカウンター

ログ機能の診断カウンターを表示します。

表示される項目については、SHOW LOG COUNTER コマンド (「運用・管理」の 147 ページ) を参照してください。

ログ表示条件

ログの表示順と表示件数を設定します。

「表示順」のリストから、ログの表示順を選択します。

「表示件数」で、表示するログの件数を指定します。

「ログ保存」ボタンをクリックすると、ログがテキスト形式で保存できます。

「ログ表示」ボタンをクリックすると、「ログ - 表示」が表示されます。



統計カウンター

統計情報を表示します。

スイッチカウンター

スイッチングモジュールの統計カウンターを表示します。

表示される項目については、SHOW SWITCH COUNTER コマンド（「スイッチング」の 69 ページ）を参照してください。

CentreCOM GS924SS

機器監視 - 統計カウンター

Version 1.6.19 MAC Addr: 00-09-24-00-02-01

保存 終了

☐ システム設定
☐ スイッチ設定
☐ セキュリティー設定
☒ 機器監視
 システム情報
 ログ
 統計カウンター
 FDB
 LDF検出
 受信シート検出
 IGMP Snooping
☐ マネージメント

スイッチカウンター

受信		送信	
packets:	4609	packets:	5959
errors:	0	errors:	0

カウンタークリア

ポート一覧

ポート	受信	受信(エラー)	送信	送信(エラー)
1	7198	0	5970	0
2	0	0	0	0
3	0	0	0	0
4	0	0	0	0
5	0	0	0	0
6	0	0	0	0
7	0	0	0	0
8	0	0	0	0
9	0	0	0	0
10	0	0	0	0
11	0	0	0	0
12	0	0	0	0
13	0	0	0	0
14	0	0	0	0
15	0	0	0	0
16	0	0	0	0
17	0	0	0	0
18	0	0	0	0
19	0	0	0	0

ポートカウンター表示 全ポートカウンタークリア 再表示

Allied Telesis

Copyright©2012 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

ポート一覧

スイッチポートの統計カウンターの簡易一覧が表示されます。

一覧から詳細を表示するポート番号にチェックを付け、「ポートカウンター表示」ボタンをクリックすると、「ポートカウンター表示」が表示されます。

「全ポートカウンタークリア」ボタンをクリックすると、すべてのポートのカウンターがクリアされます。

「再表示」ボタンをクリックすると、統計情報が更新されます。

ポートカウンター表示

「ポートカウンター表示」には、統計カウンターの詳細が表示されます。表示される項目については、SHOW SWITCH PORT COUNTER コマンド（「スイッチング」の 80 ページ）を参照してください。

「カウンタークリア」ボタンをクリックすると、表示しているポートのカウンターのみがクリアされます。

ポートカウンター表示

ポート 1

受信	送信
Octets : 458965	Octets : 1607766
UnicastPkts : 1285	UnicastPkts : 1736
MulticastPkts : 752	MulticastPkts : 0
BroadcastPkts : 1248	BroadcastPkts : 0
Discards : 0	Discards : 0
Errors : 0	Errors : 0
PauseFrames : 0	PauseFrames : 0
UnknownPkts : 0	
AlignmentErrors : 0	
FCSErrors : 0	
LateCollisions : 0	
ExcessiveCollisions : 0	
FrameTooLongs : 0	
SymbolErrors : 0	
UndersizePkts : 0	
Fragments : 0	
Jabbers : 0	

FDB

フォワーディングデータベース（FDB）の内容を表示します。また、スタティックエントリーの追加も行います。

フォワーディングデータベースの詳細については、「フォワーディングデータベース」/「概要・基本設定」をご覧ください。

「フォワーディングデータベース」/「概要・基本設定」では、コマンドラインインターフェースを使って説明していますが、Web GUI でも同じことができます。

CentreCOM GS924SS
機器監視 - FDB

Version 1.6.19 MAC Addr: 00-09-24-00-02-01

保存
終了

システム設定

スイッチ設定

セキュリティ設定

機器監視

システム情報

ログ

統計カウンター

FDB

LDF検出

受信レポート検出

IGMP Snooping

マネージメント

FDB表示条件

エントリー種別

MACアドレス(MAC)

VLAN名(VID)

トランクグループ名

ポート

1	3	5	7	9	11	13	15	17	19	21	23
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

スタティックエントリー登録

ポート番号

VLAN名(VID)

MACアドレス(MAC)

(※マルチプルVLANモード時は無効です)

スタティックエントリー削除

ポート番号

VLAN名(VID)

MACアドレス(MAC)

(※MACアドレス未設定時は、指定ポートの全エントリーが削除されます)

全ダイナミックエントリー削除

Copyright©2012 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

FDB 表示条件

条件を設定することにより、表示するエントリーを絞り込むことができます。

エントリー種別

エントリーの種別をリストから選択します。

MAC アドレス (MAC)

表示の対象となるアドレスを指定します。

VLAN 名 (VID)

VLAN 名、または VLAN ID を指定します。指定した VLAN に所属するエントリーだけが表示されます。

トランクグループ名

トランクグループ名を指定します。指定したグループに所属するエントリーだけが表示されます。

ポート

該当 MAC アドレスを持つ機器が接続されているポートを指定します。
「FDB 表示」ボタンをクリックすると、「FDB - 表示」が表示されます。

FDB 表示

「FDB - 表示」には、設定された条件にあった FDB が表示されます。
「再表示」ボタンをクリックすると、表示が更新されます。

FDB - 表示

Switch Forwarding Database (Software)

VLAN	MAC Address	Status	Port
1	00-00-f4-95-30-6a	Dynamic	1
1	00-00-f4-95-97-9a	Dynamic	1
1	00-03-93-ce-6b-44	Dynamic	1
1	00-03-ff-ba-d3-39	Dynamic	1
1	00-04-23-64-8d-e4	Dynamic	1
1	00-06-5b-88-80-41	Dynamic	1
1	00-09-16-00-02-03	Static	CPU
1	00-09-41-38-02-80	Dynamic	1
1	00-09-41-4c-ec-f1	Dynamic	1
1	00-0a-79-34-08-ad	Dynamic	1
1	00-0c-6e-80-fe-b3	Dynamic	1
1	00-0d-a2-00-50-39	Dynamic	1
1	00-15-60-ed-5c-8a	Dynamic	1
1	00-16-76-6a-e4-4d	Dynamic	1
1	00-20-4a-84-33-55	Dynamic	1
1	00-50-e4-1e-f1-4a	Dynamic	1
1	00-50-e4-fa-02-4a	Dynamic	1
1	00-80-92-35-5e-dc	Dynamic	1
1	00-e0-4c-bb-d3-39	Dynamic	1

再表示
閉じる

スタティックエントリー登録

FDB に、スタティックエントリー（スイッチフィルター）を登録します。

ポート番号

対象となるスイッチポート番号を指定します。

VLAN 名 (VID)

VLAN 名か VLAN ID (VID) を指定します。出力ポートに VLAN タグが設定されている場合に指定します。

MAC アドレス

登録する MAC アドレスを指定します。

「登録」ボタンをクリックすると、スタティックエントリーが登録されます。

スタティックエントリー削除

ポート番号

該当エントリーの出力ポート番号を指定します。

VLAN 名 (VID)

VLAN 名か VLAN ID (VID) を指定します。

MAC アドレス

削除する MAC アドレスを指定します。

「削除」ボタンをクリックすると、スタティックエントリーが削除されます。

全ダイナミックエントリー削除

「削除」ボタンをクリックすると、ダイナミックに学習した MAC アドレスの登録がすべて削除されます。スタティックに登録した MAC アドレスは消去されません。

LDF 検出カウンター

LDF 検出機能によるカウンターの簡易一覧を表示します。

CentreCOM GS924SS

機器監視 - LDF検出

Version 1.6.19 MAC Addr: 00-09-24-00-02-01

保存 終了

- システム設定
- スイッチ設定
- セキュリティ設定
- 機器監視
 - システム情報
 - ログ
 - 統計カウンター
 - FDB
 - LDF検出**
 - 受信レート検出
 - IGMP Snooping
- マネージメント

ポート一覧

ポート	LDF送信	LDF受信	アクション実行	受信破棄
<input type="checkbox"/> 1	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 2	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 3	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 4	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 5	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 6	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 7	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 8	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 9	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 10	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 11	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 12	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 13	0	0	0	0

カウンタークリア 全ポートカウンタークリア 再表示

Allied Telesis

Copyright©2012 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

一覧からカウンターをクリアするポート番号にチェックを付け、「カウンタークリア」ボタンをクリックすると、選択したポートのカウンターがクリアされます。

「全ポートカウンタークリア」ボタンをクリックすると、すべてのポートのカウンターがクリアされます。

「再表示」ボタンをクリックすると、統計情報が更新されます。

受信レート検出カウンター

受信レート検出機能によるカウンターの簡易一覧を表示します。

CentreCOM GS924SS

機器監視 - 受信レート検出

Version 1.6.19 MAC Addr: 00-09-24-00-02-01

保存 終了

- システム設定
- スイッチ設定
- セキュリティ設定
- 機器監視
 - システム情報
 - ログ
 - 統計カウンター
 - FDB
 - LDF検出
 - 受信レート検出
 - IGMP Snooping
- マネージメント

ポート一覧

ポート	高レート検出	アクション実行	低レート検出	アクション実行	受信レート(Kbps)
<input type="checkbox"/> 1	0	0	0	0	5
<input type="checkbox"/> 2	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 3	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 4	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 5	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 6	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 7	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 8	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 9	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 10	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 11	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 12	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 13	0	0	0	0	0

カウンタークリア 全ポートカウンタークリア 再表示

Allied Telesis

Copyright©2012 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

一覧からカウンターをクリアするポート番号にチェックを付け、「カウンタークリア」ボタンをクリックすると、選択したポートのカウンターがクリアされます。

「全ポートカウンタークリア」ボタンをクリックすると、すべてのポートのカウンターがクリアされます。

「再表示」ボタンをクリックすると、統計情報が更新されます。

IGMP Snooping

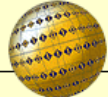
IGMP Snooping の設定を表示します。

表示される項目については、SHOW IGMP Snooping コマンド（「IGMP Snooping」の9ページ）を参照してください。

CentreCOM GS924SS

機器監視 - IGMP Snooping

Version 1.6.19 MAC Addr: 00-09-24-00-02-01



保存 終了

システム設定

スイッチ設定

セキュリティ設定

機器監視


- システム情報
- ログ
- 統計カウンター
- FDB
- LDF検出
- 受信レポート検出
- IGMP Snooping

マネージメント

ステータス

Status Disable
Timeout 260

再表示

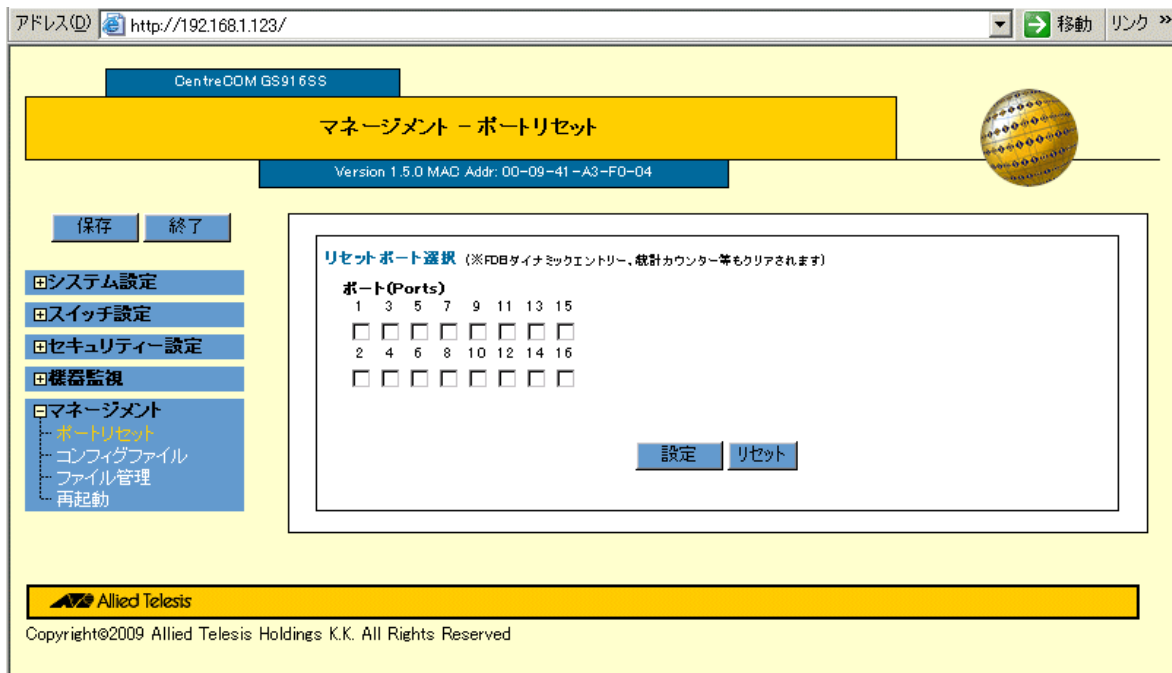
 Allied Telesis

Copyright©2012 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

マネージメント

ポートリセット

スイッチポートをリセットします。リセットを実行すると、オートネゴシエーションプロセスを開始し、ポートの統計カウンターをクリアします。



リセットポート選択

リセットするポート番号にチェックを付けます。
「設定」ボタンをクリックすると、選択したポートがリセットされます。

コンフィグファイル

現在の設定内容（メモリー上の設定内容）を保存するスクリプトファイルに関する設定を行います。
コンフィグレーションの詳細については、「運用・管理」/「コンフィグレーション」をご覧ください。
「運用・管理」/「コンフィグレーション」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。

アドレス http://192.168.1.123/ 移動 リンク »

CentreCOM GS916SS

マネージメント - コンフィグファイル

Version 1.5.0 MAC Addr: 00-09-41-A3-F0-04

保存 終了

☒ システム設定
☒ スイッチ設定
☒ セキュリティ設定
☒ 機器監視
☒ マネージメント
 ポートリセット
 コンフィグファイル
 ファイル管理
 再起動

設定ファイル

起動時設定ファイル basic.cfg 起動時設定ファイル変更 basic.cfg

カレント設定ファイル None

設定 リセット

設定保存

☒ 起動時設定ファイルに保存する
☐ 既存ファイルに保存する basic.cfg
☐ 新規ファイルに保存する

ファイル名

保存 リセット

設定表示

☒ 現在の設定内容を表示する(Dynamic)

表示

Allied Telesis

Copyright©2009 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

設定ファイル

起動時に読み込まれるデフォルトの設定ファイル（起動時設定ファイル）を指定します。

「起動時設定ファイル」には、次回起動時に実行される設定ファイル名が表示されます。

起動時設定ファイルを変更したい場合は、「起動時設定ファイル変更」のリストから、変更したい設定ファイルを選択し、「設定」ボタンをクリックします。

「カレント設定ファイル」には、今回の起動時に実行された設定ファイル名が表示されます。

設定保存

現在の設定内容（メモリー上の設定内容）をスクリプトファイルに保存します。

次の3つの保存方法の中から1つを選択し、「設定」ボタンをクリックすると、現在の設定内容が設定ファイルに保存されます。

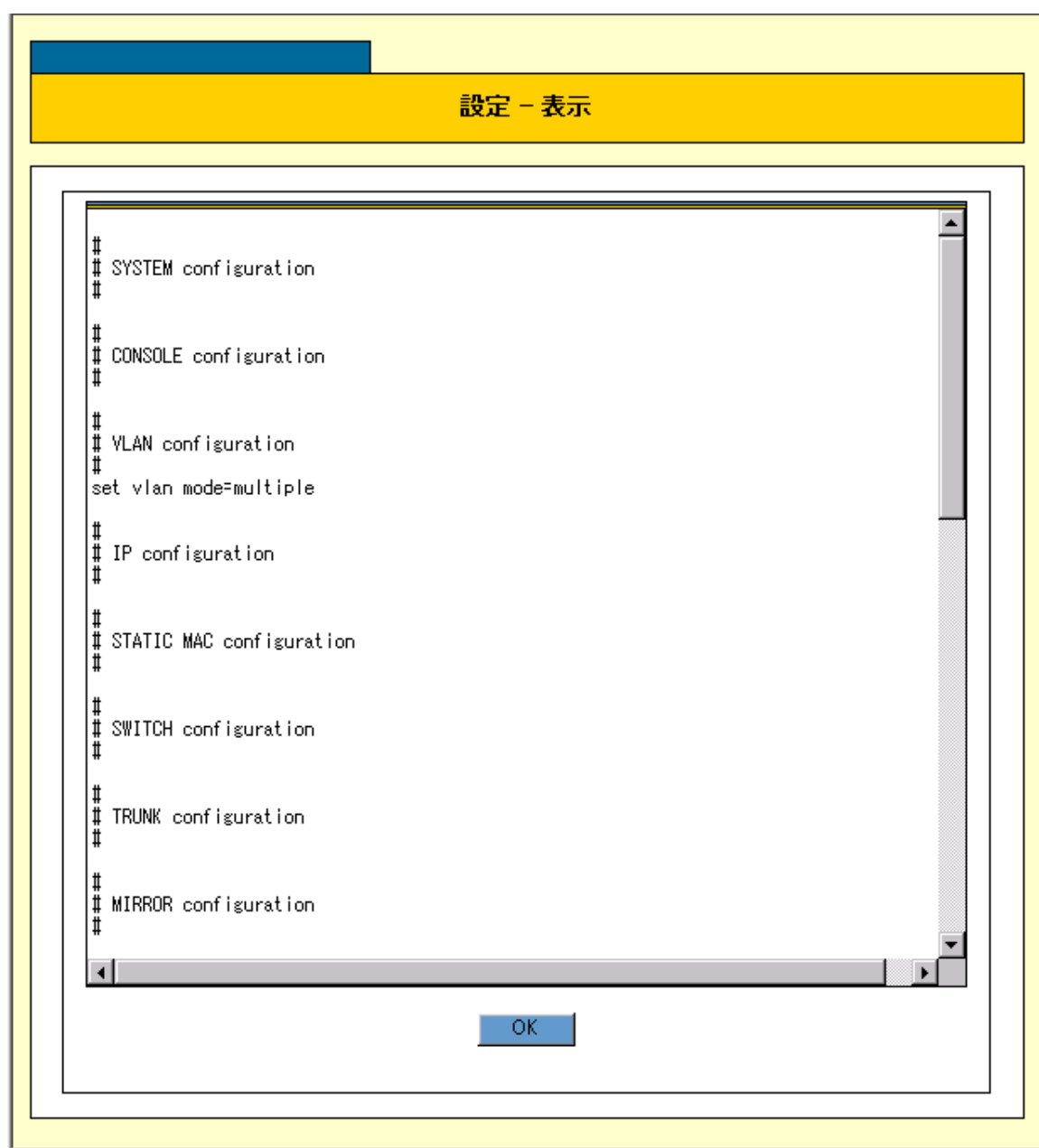
- 「起動時設定ファイルに保存する」:「起動時設定ファイル」に設定されている設定ファイルに、設定

を保存

- 「既存ファイルに保存する」: 選択したファイルに設定を保存
- 「新規ファイルに保存する」: ファイルを新規に作成し、設定を保存

設定表示

「表示」ボタンをクリックすると、現在の設定内容（メモリー上の設定内容）を設定ファイルと同じ形式で表示されます。



ファイル管理

ファイルシステム上のファイル一覧が表示されます。

また、設定ファイルのアップロード・ダウンロード、および、ファームウェアのダウンロードが可能です。

ファイル管理は、Internet Explorer の HTTP 機能を利用します。

また、「ポップアップをブロックする」が有効な場合、本機能を使用することはできません。

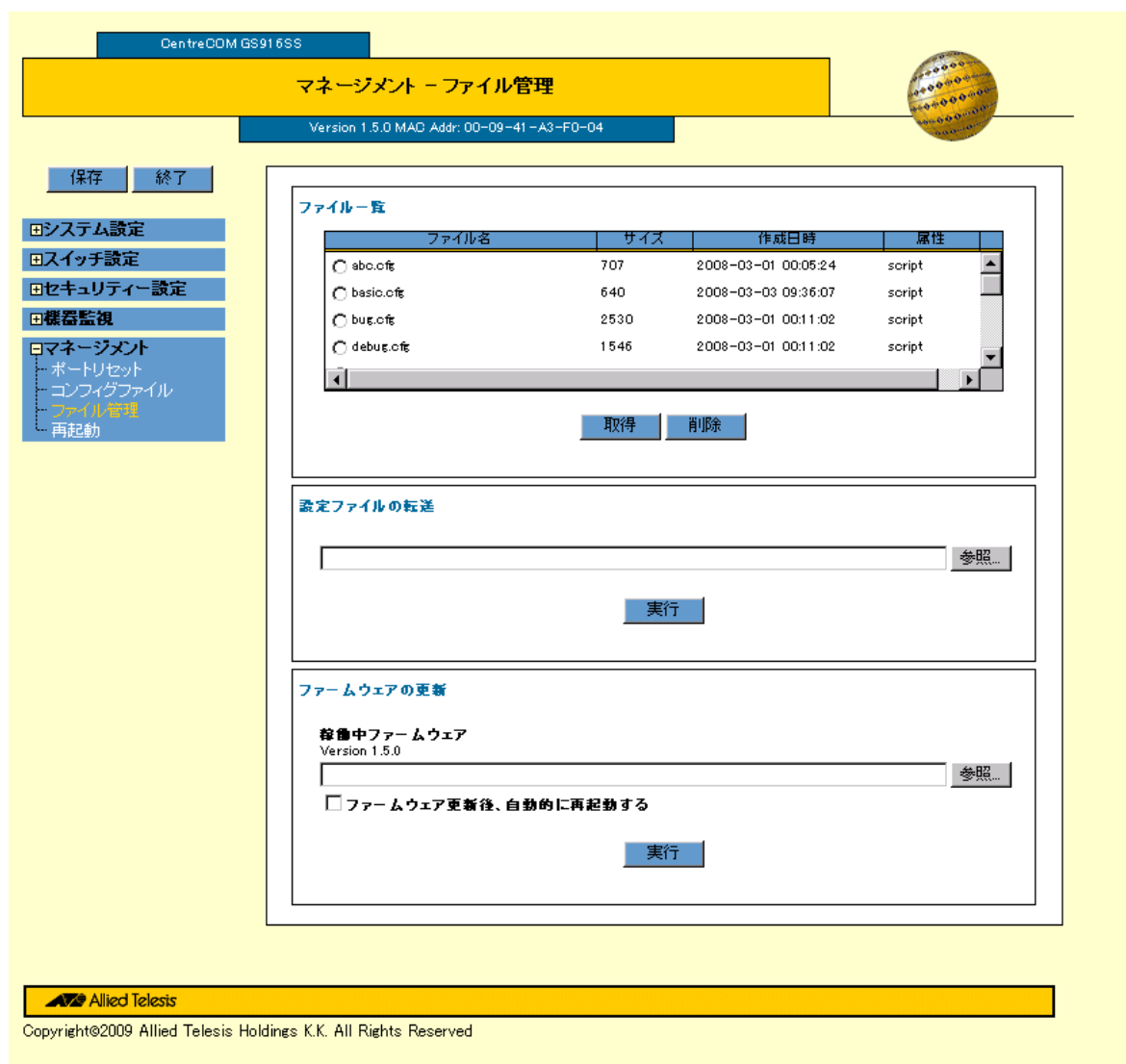
[ツール] メニューの「インターネットオプション」を選択し、「プライバシー」の「ポップアップ ブロック」の設定において、本 IP アドレスを許可する設定としてください。

- ※ 本書では、本製品からサーバーなどへのファイルの転送をアップロード、サーバーなどから本製品へのファイル転送をダウンロードと表現します。

ファイル管理の詳細については、「運用・管理」/「ファイルシステム」をご覧ください。

「運用・管理」/「ファイルシステム」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、次の項目以外は、Web GUI でも同じことができます。

- フラッシュメモリーの初期化
- ファイルのコピー
- ファイルの削除
- 指定したファイルの内容表示



Web GUI からのファイル管理には、次の制限があります。

- ファイル名を変更できない
- ファイル名の変更、内容を編集するには、一度設定ファイルをアップロードし、ファイル名の変更、内容の変更を行ってから、ファイルをダウンロードしてください。

ファイル一覧

ファイルシステム上のファイル一覧が表示されます。
ファイルを選択し、ファイルのアップロード、ファイルの削除が行えます。

設定ファイルの転送

設定ファイルを本製品にダウンロードできます。

ファームウェアの更新

本製品にファームウェアをダウンロードし、ファームウェアの更新を行います。

Internet Explorer 7 以上を使用する場合の注意

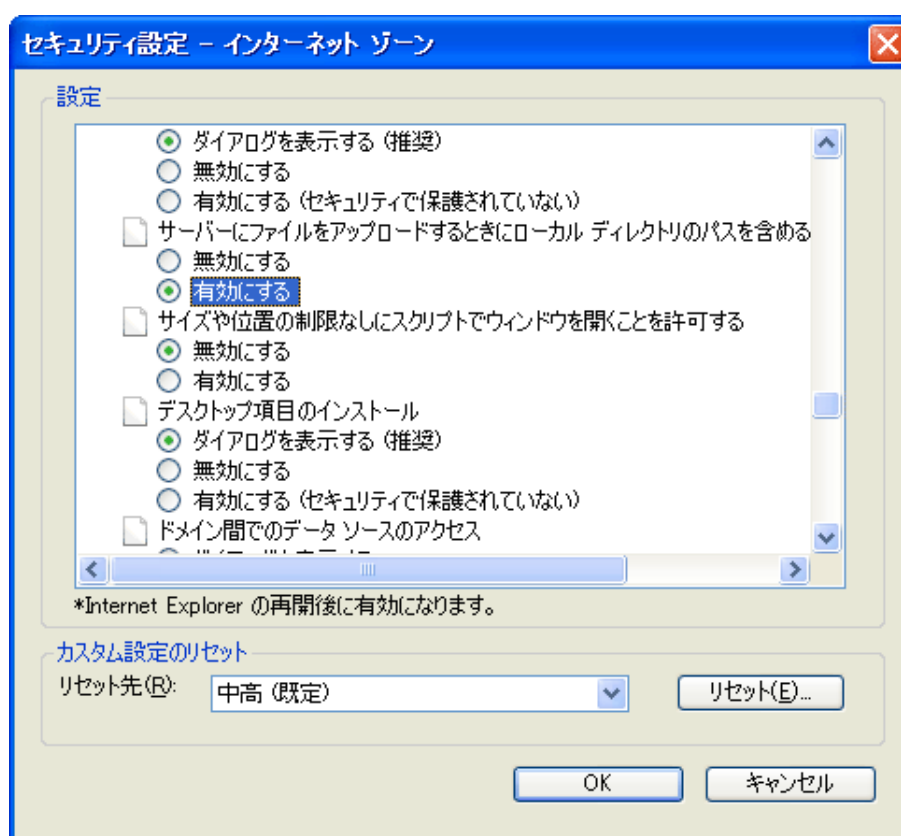
Internet Explorer 7 以上を使用し、コンフィグファイルやファームウェアを転送する場合、事前に以下の設定を実行してください。

設定

ツール メニューの「インターネットオプション」を選択し、「セキュリティ」タブを開きます。

1. 「インターネット」ゾーンの「レベルのカスタマイズ」で「サーバーにファイルをアップロードするときローカルディレクトリのパスを含める」を「有効にする」に設定します。

※ 本設定は、Internet Explorer 7 ではデフォルト有効に、Internet Explorer 8 / 9 ではデフォルト無効になっています。



Internet Explorer 8 / 9 を使用する場合の注意

Internet Explorer 8 / 9 で SmartScreen フィルター機能を有効にしていると、設定ファイルの取得に時間がかかる場合があります。この現象を回避するには、以下の方法を実行してください。

設定

ツール メニューの「インターネットオプション」を選択し、「セキュリティ」タブを開きます。

ローカル イントラネット を選択して [サイト] ボタンをクリックし、[ローカル イントラネット] 画面にて [詳細設定] ボタンをクリックします。

1. ファイル ダウンロード元のサイトを入力し、[追加] ボタンをクリックして全ての画面を閉じます。

＼ ファイルのダウンロード完了後、設定を元に戻すことを推奨します。

再起動

システムの再起動確認のダイアログボックスが表示されます。

「OK」ボタンをクリックすると、システムが再起動されます。

「キャンセル」ボタンをクリックすると、元の設定画面に戻ります。

本製品の設定を変更した後、設定を保存しない（メニューエリアの「保存」ボタンが赤い状態）で再起動を選択すると、再起動確認のダイアログボックスに、設定が保存されていないというメッセージが表示されます。設定を保存したい場合は、「キャンセル」ボタンをクリックし、設定を保存してから、再度、再起動を行ってください。「OK」ボタンをクリックすると、設定は保存されません。

